

# T M U

Bulletin for Tokyo Metropolitan University Alumni

2015年（平成27年） No.11



首都大学東京同窓会・会報

# Tokyo Metropolitan University

## 同窓会会報 2015年(平成27年) 第11号 目次

巻頭言「戦後70年に思う」	会長 黒石 輯	1
同窓生はいま		
タイ短期留学記	中村 芽莉	2
癒しのジパングー海洋観光立国を夢見て	中瀬 勝義	2
市議会議員のしごと	中田 中	3
ママさん運転士活躍	上土井 泰子	3
弁護士活動から	池田 宏	4
オレンジリボンたすきリレー 日本一周啓発ランの報告	井上 幸夫	4
都立大は僕の原体験だった	田野 通保	4
仕事人生の基盤	佐藤 和彦	5
東北創生とドイツとの交流	末岡 真純	5
暮らしの中の喜びー空手道を友として50年	岩橋 敏広	6
在シンガポール都立大・首都大学東京同窓会の報告	小原 弘道	6
特別寄稿 交流の輪を広げる「日本の海岸線を歩く会」	住山 茂	7
ー外房お試し歩行と大阪府立大学との交流		
外房歩行の記	黒石 輯	7
外房お試し歩行に参加して	山田 昭正	7
母校はいま		8
第2回プロジェクト奨励賞授賞グループ活動報告		
荒キャン東北応援隊	小野 敬済	13
世界の幸せつなげてみる会	森 久美子	13
グリークラブ 第67回全日本合唱コンクール金賞受賞報告		14
同窓会と大学が共催でホームカミングデー・首都大学東京10周年記念行事を開催		15
2015年 入試合格者・入学者数		15
大学事務局からのご報告「都市の公立大学が未来を創る」		
ー首都大学東京学長 上野 淳・大阪府立大学学長 辻 洋		16
2015年4月1日付 首都大学東京名誉教授称号授与者		17
上野 淳名誉教授学長就任祝賀会を開催		17
表紙のこぼれ「大田黒公園」	渡部 力	17
74校中14位で合格率アップし23.01%		17
国際センター・国際化による大学のグローバル化の取組みと方向性	名誉教授 岡部 豊	18
支部だより 北海道支部 関西支部 九州支部		19
訃報 元東京都立大学第十一代総長 茂木 俊彦名誉教授 逝去		20
埼玉八雲会の報告	佐伯 公	20
評議員に立候補をお願いいたします		21
八雲クラブで会いましょう	丑山左千男	21
2015年 同窓会寄付講義		22
企画展「東京の海・山・島に」が開催されました		22
同窓会事務局からのお知らせ		23
第11回評議員会議事録		25
第11回総会議事録		26
「輪っばの会」総会報告	諸貫 信行	27
寄付者ご芳名とお礼のこぼれ		28
訃報		30
東京都立大学第六代総長 楠川絢一先生を偲ぶー同窓会前会長 田中 和夫		30
TMU PLAZA		31～35
初夏のドイツ周遊の旅(31) 東京都立大学「小嶋ゼミ同窓会」終了・「同有志会」発		
足報告(31) 硬式庭球部 OLD OB・OG会(32) 未来の自分と繋がる会の開催(33) 東		
急八雲会に参加して(33) エリカ混声合唱団創立55周年記念 OB・OG 合同ステージ		
が実現(33) 昭和32年入学 L1A クラス会(34) 留学報告会を開催(35) 最後の旧人文		
学部2期生の会(35) 第4回バレーボール部同窓会で現役に部旗を贈りました(35)		
首都大学東京同窓会・会計報告		36
TDS(株)都立大学同窓会サービス)会計報告		表3
同窓会総会・ホームカミングデー		表4



写真上から南大沢キャンパス  
1号館・光の塔  
日野キャンパス  
科学技術交流施設  
荒川キャンパス  
図書館棟

# 戦後70年に思う

首都大学東京同窓会 会長 黒石 輯

今年も一、二〇〇名余の新会員を迎えた。各種同窓会行事に積極的に参加いただき、新しい感性で同窓会に新風を吹き込んでいただくことを期待している。

戦後70年のこの夏、炎熱の日々が続いた。吹き出る汗を拭いながら、終戦前後の出来事に思いを馳せた方も多かったと思う。

当時は衣食住その他全てにわたって物資が不足していた。

乳幼児で小児喘息に罹った私は、有効な医薬品が欠乏していた町医者から見放され、両親も私の死を半ば覚悟したことがあったらしい。ひもじい思いをしていた幼年時、ジープに乗った黒人米兵から貰ったチョコレートが実に美味かった。惜しむように少しずつ齧った。

小学校では、女生徒が陽だまりの校舎壁沿いに並べられ、頭髮に蚤・虱駆除のDDTを振り掛けられていた。

これら物資・衛生面だけでなく、何よりもクラスで5人の内1人は戦場で父親を失った母子家庭であり、ことあるごとに子供心にも痛みを覚えた。

昨秋、広島市の平和公園に赴き、人気の疎らな夕暮れ時に一人鎮魂の鐘を突き、頭をたれた。その数ヵ月後、念願だった鹿児島県の知覧特攻基地を訪れた。若くして死地に赴いた特攻隊員の遺品類に接して、涙を禁じえなかった。

なぜ、無残な、悲惨な結果を招いた戦争に突入したのか。

開戦前に客観的な研究・分析の上で「敗北は避けられない」とする関係機関の報告書があげられていたと聞いている。その結論を無視し、無謀な戦争に突入していったのは何故なのか。

当時における欧米列強の帝国主義的戦略と、後発国である日本の帝国主義的戦略との相克であったとするのが通説かもしれないが、どうも得体的に知れないものが介在していると思えてならない。

客観的なデータに基づく見解よりも、勇ましく扇情的な大声の方がその場の空気を支配しやすいという説をうかがったことがある。

開戦時はまさに「勇ましく扇情的な大声」が支配した状況だったのでないか。

特攻隊員が遺した家族宛の手紙や葉書からは、淡々と綴りながらも、どこか遣る瀬ない心情が伝わってくる。また、実業界における私の乏しい経

験でも、データ軽視の扇情的発言がまかり通るといった事例を、大なり小なり上げることができる。付言すると、これらの事例の結果は殆どが無残なものとなった。

戦後からこの方、私どもの年代はワーカホリックと揶揄されながらも、窮乏を脱したいという一念で懸命に働いてきた。戦後の廃墟から立ち直り高度な経済成長を成し遂げてきたのには、勤勉な国民性をはじめ諸々の要因があるが、資源の少ないわが国にとって、自由に貿易を遂行できる国際環境という前提があつて可能になったことである。

70年前の反省に立てば、なんとと言っても自由に貿易を遂行できる国際環境を、国際協調のもとに互恵的に対処すべきだということは論を待たない。いまや、窮乏や飢餓体験のない人々が大半を占める。

貧困の中で育った私どもは、身に沁みた体験である「勇ましく扇情的な大声」という亡霊の徘徊・跋扈を決して許してはならないと伝えなければならぬと思う。

このことは国政レベルだけではなく、個人個人が属する集団レベルそれぞれにおいても肝要なことだ。

すでにお読みかと思うが、月刊「VOICE」9月号誌上に舛添都知事、川淵理事長、上野学長の鼎談が載っている。首都大学東京の現状や改革の方向性、そして教育観が述べられている。この鼎談で、舛添都知事がリベラルアーツを重視した教育の必要性を説かれているのを知って、安堵に近い思いを抱いた。と言うのは、首都大学東京の開学経緯に関する資料を読んでいると、勇ましく扇情的な声に類するのではないかと首を傾げたくなるケースが散見されたからだ。

以上が強い陽ざしを受けながらの散歩中に、戦後70年に関して浮かんだ諸々の思いの一端である。

さて、今年の同窓会総会・同懇親交流会は、大学祭の期間中に大学と共催したホームカミングデーに併せて開催いたしましたところ、例年になく多数のご参加をいただきました。有難うございました。また、多忙な中、快く講演を引き受けていただいた細野秀雄東京工業大学教授（都立大工学部25期卒、日本学士院賞、恩賜賞）に厚くお礼を申し上げます。

# 同窓生はいま

## タイ短期留学記

中村 芽莉  
(首都大・生命科学コース3年)

二〇一五年春のタイ短期留学記についてと今後の抱負を書かせていただきます。

私は二年生の春に、バンコクにあるチュラロンコン大学主催の生物多様性と海洋保全についての九日間プログラムに参加しました。英語で生物学が学べることに惹かれ、参加を即決しました。

中村 芽莉  
なかむら めり  
国立東京学芸大学付属高校卒業  
現在首都大学東京都市教養学部理工学系生命科学コース3年在学中。



中瀬 勝義  
なかせ かつよし

タイでは、アメリカ、シンガポール、中国などの学生、幾つかの学部の中の優秀な現地学生と共に過ごしました。英語が達人だけでなく、生涯連絡を取り続けたいと思える方がたくさんいました。バンコクから約二〇〇kmの離島では、食物連鎖のトップに位置しその数が激減している幼いサメを放流したり、白化が進むサンゴの植え付けをしたり。タイで自然を見、聞き触れ合うことで、私の中の興味の引き出しはバラエテ

イーを増しました。プログラムの最後にはプレゼン発表をする機会がありました。作り方・英語力・生物知識などのバックグラウンドの違いを感じ、これまで経験したことのない学術物を作る難しさを知りました。生物多様性を学ぶ以上に、参加者の背景にあると文化の多様性を学ぶように感じます。

さて、本年度から生命科学コースでは英語課程が開講されています。私も専門分野の各論を英語で学ぶことに挑戦中です。私がこのような経験ができたのは、授業や先生、将来グローバルに活躍したいという同じ目標を持つ三人の受講生がいたおかげです。今後も常に高いレベルを目指して行こうと意気込んでいます。



民族衣装を着たタイの学生とともに  
(左から2番目が本人)

## 癒しのジパング

### 海洋観光立国を夢見て

中瀬 勝義  
(首都大・都市環境・観光修士2010)

明治維新以降、欧米に追い付け、追い越せと、富国強兵に注力してきた日本。敗戦にもめげず、20年前にはジャパン・アズ・ナンバーワンと世界最高峰に達したが、バブルが崩壊し、失われた20年が続いている。

日本は今まで、辛い厳しい農林水産業から生産性の高い、皆が幸福になれる、外国の資源に依存した工業立国・貿易立国を推進してきた。しかし、工業は世界中の国々に拡がり、今までのように日本が技術で圧倒する時代は難しくなっている。幸い日本は温暖な気候、豊富な水、山紫水明の景観、周囲を海に囲まれた安全な国である。この素晴らしい自然と共生した国づくり・海洋観光立国が望まれる。

そんな中、首都大学東京大学院に観光科学研究科が創立されたことを知り、63歳で社会人入学に挑戦、無事入学することができた。修士の2年間は若い方々との楽しい交流とともに、観光の基礎を学び、日本に海洋観光立国を推進したいとの希望が大きくなった。現役時代、海洋環境調査に従事してきたことから、広く

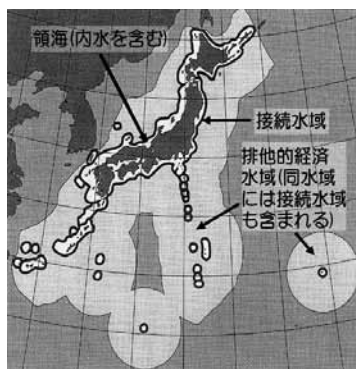
日本の海に出、またヨットで海を楽しむことも多かった。そんな経験を生かし、仲間と一緒に一昨年、一般法人「日本海洋観光推進機構」を立ち上げ、11月には、岡山県北木島―愛媛県岩城島―広島県大崎上島―山口県周防大島を結ぶ「ヨットによる瀬戸内海海洋観光モニターツアー」を開催することができた。

幸い日本には国土の廻りに世界でも6番目に広い、広大な排他的経済水域(EEZ)が広がっている。この海域を活用した海洋観光立国はこれからの日本の国のあり方として大変重要なキーワードと考える。世界の方々に、長期バカンスで、温暖な気候、豊かな自然と豊富な水と温泉に恵まれた、北には流水があり、南には世界的なサンゴ礁がある日本列島を1、2ヶ月かけてゆっくりと旅し、毎日温泉に入り、時にはマリンドジャヤーや太平洋クルーズを楽しんでもらうならば、観光客がみんな健康になって帰っていただけ。まさに癒しのジパングになれるのではないだろうか。

国内的には大型バカンスを導入し、現在の外国の資源に依存した生活から、国内の資源に立脚した農林水産業と地域の製造業を再生・活性化した地産地消のゆとりある循環型ライフスタイルにする。市民農園や家庭菜園で自給自足に寄与し、農林水産エコツーリズムや昔のお伊勢参

りのような内需型観光を楽しみたい。

「資源のない国」から「自然豊かな国」への発想の大転換が望まれる。



日本の国土周辺の海洋域

### 市議会議員のしごと

中田 中

(科技大3期・航空宇宙システム工学科)

中田 中  
なかだ あたる  
科学技術大学航空宇宙システム工学科卒。  
現在、稲城市議会議員2期目。IBM、IT系企業を経て現職。

上土井泰子  
じょうどい やすこ

東京都立調布北高校卒業。  
2004年都立大学人文学部社会学科卒業。  
JR東日本入社。東京駅の駅員、中野車掌区の車掌を経て、現在の大崎運輸区の主任運転士に至る。

大学卒業後はIT技術者として約20年間キャリアを積んでいましたが、今から4年前、東日本大震災の年に市議会議員に立候補し初当選。現在2期目を務めています。

元々、政治家志望ではなかった私が選挙出馬に至るきっかけは3つありました。1つ目は官公庁の基幹システム刷新の計画策定に関わったことです。抜本的なシステム刷新のほが最終的には無難なシステム改修となつたことに憤りを感じ、政治的なりリーダーシップの必要性を感じま

した。2つ目は結婚し子供が生まれてから、PTAや自治会、学童クラブなど地域活動に関わるようになったことです。最初は自分達の地域のための「ちょっとしたお手伝い」くらいの意識で始めたのですが、PTA会長などの役職を引き受けるにつれ、地域を変えようと思うなら手間はできないな、と考えるようになりました。3つ目は市教育委員会の教育委員として教育行政に関わっていたことです。過去のPTA会長や地域団体での経験が評価され、出馬前の2年間、教育委員を務めていました。そのため教育分野限定ではありませんが、市の組織や予算に関して学ぶことができ、市議会議員としてやっていく自信を持つことができました。

そして、政党などのしがらみに捉われず地域のために働くことを目指し、無所属として出馬。定数22名中22位でなんとか当選できました。現在は市議会議員であると同時に、地域の一員として様々な地域活動に関わっています。

振り返ると様々な経験が今の自分につながっていると思います。学生時代のデイズニールランドでのバイト経験や楓祭実行委員会での経験が、地域行事の企画・運営に役立っていますし、官公庁のITコンサル経験が「ITに強い議員」としての評価につながっています。人生には様々

な分かれ道が現れますが、どんな選択であつても常に前向きに取り組むことが大事だと感じます。

### ママさん運転士活躍

上土井泰子(都52・社会)

1999年、都立大学人文学部社会学科のB類に入学。早朝からバイトを掛け持ちして働き、18時から授業に出るといのが基本のスタイルでした。クラスメイトに誘われてワンダーフォーゲル部に入部。ザツクは重く、体力もなく、大変な事だらけでしたが、トレーニングを重ねて体力がついてくると、登山を楽しめるようになりました。山へ向かう時は基本的にはどこへ行くにも鉄道を利用しました。北海道ですら青春18切符で行きました。鉄道が好きという男子部員を白い目で見つ、実は自分も鉄道旅行に魅力を感じていたのか、気づいたら就職活動では鉄道業界ばかり受けていました。

2004年、大学を卒業してJR東日本に入社。東京駅に配属になり、みどりの窓口や改札口で2年半勤めました。その後、車掌に興味を持ち、2006年には車掌試験を受けて、中野車掌区へ異動。中央総武線の車掌として乗務しました。そして今度

は運転士になろうと決め、運転試験

を受けて2008年に福島県の新白河にある総合研修センターで3か月間の研修を受けました。

文系の私にとって、理系の科目はとて過酷でした。電車のモーターが動く原理を一から学び、遙か昔に使ったフレミング3本指の法則や、右手の親指の法則などを使って、自分の頭の中でモーターが動いた時は、純粹に感動しました。

そして研修センターを卒業し、大崎運輸区に配属となりました。大崎運輸区は主に山手線を担当しています。私は大崎運輸区の女性運転士の第一号でしたので、同期と協力して男性文化の中で奮闘しました。およそ半年間の見習い期間を経て、晴れて一人前となりました。その後2014年には、長男を出産し、翌年の年末に職場復帰しました。育児と仕事の両立はなかなか大変ではありますが、主人や両家の母の協力も得てこなせています。主人も登山が



運転席の本人

池田 宏  
いけだ ひろし  
1999年 東京都立大学  
法学部政治学科卒業  
2006年 一橋大学大学  
院法学研究科法務専攻卒業  
2006年 司法試験合格  
2007年 弁護士登録  
現在、真和総合法律事務所  
所属



井上 幸夫  
いのうえ ゆきお

田野 通保  
たの みちやす  
53年 栃木県足利市に誕生。  
69年 栃木県立足利高校入  
学。73年 都立大学理学部化  
学科入学。79年 都立大学大  
学院物理学教室入学。83年  
株式会社データ・テック設  
立、社長。ドライブレコー  
ダメーカーとして活躍中。



趣味なので、休日は子供を背負って登山に出かけることもあります。山手線は安全安定輸送のため、現在ホームドアを順次設置しています。さらに今年の秋頃にはE235系という新型車も導入されていきます。進化し続ける山手線ですが、ママ運転士として安全運転で乗務しています。



冬のハケ岳

事について、一部披露させていただきます。

数年前、覚せい剤の事件を担当しました。その事件では、鑑定の試料とするために、被疑者であるA氏に無理やり尿を出させようとして、警察が大量の水を飲ませ、冷房の設定温度を下げる等の虐待を行っていました。また、その事実を隠蔽するため、同時間帯の取調べは記録上存在しないものとされていました。

後の裁判では、「ルール違反があったかもしれないが、(警察官である我々が)尿をすりかえるはずがない」などという仰天の供述が採尿担当警察官から飛び出しました。また、証拠写真にも改ざんがあることが明らかになりました。

そのため、形勢が一気に逆転して無罪の心証に傾いたところ、形勢不利と考えた検察官は、A氏が以前起こした交通事故を理由に追起訴してきました。

後の判決では、覚せい剤については無罪判決がなされましたが、交通事故については起こしてしまっただけとは事実であるので、有罪判決がなされました。

本件に携わること、捜査機関においては、有罪判決の獲得が極端に重視されており、ルールの遵守については疎かにされていることを実感しました。やはり、目的は手段を正当化するものであってはなりません。

### 弁護士活動から

池田 宏 (都47・法・政治)

先輩方、はじめまして。1999年に都立大学を卒業し、現在は一般民事、企業法務を中心に弁護士として活動しています。今回は、私の仕

ん。

なお、周囲にお困りごとがございますら、いつでもご連絡ください。同門の後輩として、微力ながらお力添えできれば幸いです。

### オレンジリボンたすきリレー 日本一周啓発ランの報告

井上 幸夫 (都27・人文・社会)

2014年3月に東京都福祉保健局を定年退職。児童福祉施設や児童相談所などに33年間勤めました。

そこで出会った子ども達を通して学んだことが、オレンジリボンたすきリレー日本一周啓発ランです。

子どもの虐待を防ぐためには、子育て支援、多機関連携が必要です。人と人が一つになる大切さ、手と手をつなぐ素晴らしさ、それらを行動で示したのが、このたすきリレーです。

私は2014年10月26日(日)から1年かけて無事に日本列島を走って一周しました。各都道府県を訪問し、たすきリレーの魅力を伝え、各地で実施してもらい、日本列島を一本のたすきで繋ぎたいと考えました。2015年10月25日に横浜山下公園にゴールしました。

訪問した各地で応援して頂いた多数の方々のお蔭で無事目的を果たす

ことが出来ました。ここに記して感謝の気持ちを表したいと思います。有難うございました。

連絡先 Facebook:  
<https://www.facebook.com/orangeuskip>

### 都立大は僕の原体験だった

田野 通保 (都25・理・物理)

1953年栃木県足利市に生まれ62歳になった。

粗ぶれた空っ風の北関東に育ち立ちだけは強烈だった。小学校の時、「豆腐屋」のバイトをした。自転車の荷台に「豆腐」「あぶらげ」を載せて売った。その時の「物を売る」との快感を知ってしまった。今会社を経営し自分で開発した機械を売る、その原体験のスタートになった気がする。

大学の新入生歓迎会での先輩・先生との合宿で地球化学で有名な半谷先生が「君たちは好きなことをやる立場にある。だからこそ社会的制裁を受けるものだ」と戒められた。ずっと好きなことを続けていた今まで「多少の苦勞や困難は当たり前」とこの言葉が論じられていた。

3年の授業で「何故勉強するのか?」と質問された。先生は続けて「新しいものを発見するために学ぶ」「だから既存の知識はできるだ

## 佐藤 和彦

さとう かずひこ  
東京都立日黒高校卒。'74年日本電信電話公社入社、'74年都立大学工学部電気工学科卒。'99年東日本電信電話株マルチメディアビジネス開発部担当部長、'01年NTTラーニングシステム(株)取締役映像製作事業部長、'13年同社常勤監査役、'15年6月より助電気通信端末機器審査協会理事長現在に至る。



## 末岡 真純

すえおか ますみ  
駒場東邦高等学校卒。'74年都立大学工学部土木工学科卒。'76年同大学院土木工学専攻終了。'75年日本道路公団入社、'04年日本道路公団東北支社副支社長、'05年(株)高速道路総合技術研究所総括研究主幹、'10年(株)ネクスコ・エンジニアリング東北代表取締役社長。現在に至る。



け早く吸収しなさい」と言われた。数年後大学院で「物性(個体物理)」の研究に入り、学ぶことの目的と新しいことをやることの「難しさ」を自覚させられた。

数学の教授になった小室君とは「流体力学」の自主ゼミをやった。彼は「毎日5時間勉強することが大事」と言っていた。「時間」を強調した。5時間勉強できるのは実は「才能」と分かってきた。僕は5時間集中する力(才能)がなかった。天才は「1の才能と9の努力」と

言います。けど努力でできるのも実は「才能」なんだと小室君と勉強して学んだ。

大学時代に学んだ物理数学、もののとらえ方・考え方で今も生かされている。×H(×)。物体の動きを計算値として求める。その素養を大学で学んだ。自然は自分が動くと同じにも変わる。結果が原因になり、それによってまた新しい結果が生まれる。

設立した会社では車の計測機を開発し製造・販売まで手掛けている。世界で初めて「ドライブレコーダ」も開発・販売した。

都立大学はすべての原体験として僕を育て、導いてくれた。あれほど有意義な時期を与えてくれた大学。教官・仲間たちへ感謝の言葉を贈りたい。

## 仕事人生の基盤

### 佐藤 和彦 (都22・工・電気)

大学を卒業して41年目、今年の6月にまさかの異動!お役所対応もあつて詳細に経歴を書く必要があり、自分の仕事人生(ライフキャリア)を見つめる機会になりました。そんな折、原稿依頼があり一卒業生としての経験と想いを紹介させてもらうことにしました。

電気工学科を卒業したものの、コンピュータ仕事を避けたかったの、当時の電電公社に入社しました。しかし、配属はデータ通信関係!当時のコンピュータはオンラインで漢字を扱えず、その分野の開発をすることになりました。その後、別の専門分野に異動し、デジタル伝送方式や装置開発を実施。その後、人事・人材育成や、人工知能応用の企画推進なども経験しました。そして開発中心の日々が、ある時、急に新規事業開発担当になりました!日々驚きと学びの中で、音楽のネット配信、ネットでのアニメ製作、TV局等との会社設立など、いわゆるコンテンツ事業にどっぷり浸かることになり、幅広い業界との付き合いが始まりました。そして、50歳でNTTを退職し、関連会社の役員として最長記録の在任。その間に社会人大学院

で学位やキャリアコンサルタントの資格等を取得し、今年の6月に職員10数名の一般財団法人(現職)に転職しました。

振り返ってみると、外的なキャリアは様々ですが、何か新たな価値を生み出すという内的キャリア(自分の価値観等)への自覚は一貫していたように感じています。だからこそ、様々な仕事も楽しくやってこられたのではないかと思っています。また、新卒の皆さんの採用面接での経験上、内的なキャリア自覚が成否に直結するようになっています。実際、そこまで深く自己理解をしている人は、その後の成長が著しいように感じます。今後そのようなキャリア教育に携わることが出来たら嬉しい限りです。キャリア教育≠就活だからです。ライフキャリアだからです。



受賞式の写真(右が佐藤和彦)

「残響制御技術 Revtrina」の開発と実用化」に関する日本オーディオ協会賞の協会大賞を受賞。

2013年12月11日

([http://www.ntt-electronics.com/new/information/jis-awards\\_2012.html](http://www.ntt-electronics.com/new/information/jis-awards_2012.html))

## 東北創生とドイツとの交流

### 末岡 真純 (都22・工・土木)

大地を相手に仕事をしなくては工学研究科土木専攻を終了後1976年に日本道路公団に入社し、豪雪地帯の新潟県魚沼郡で5年間の現地経験後本社で全国の高速度道路建設予算を担当した。国や政治家への説明資料作成で連日深夜までの勤務が懐かしい。

その後ドイツ語の響きに憧れ、日本の高速度道路設計の原点がアウトバインであることも関係し、1985年フランクフルトの南にあるダルムシュタット工科大学土木学部道路維持管理研究室に2年間留学した。研究室の教授はコンサルタント会社も経営、国からの受託研究も行いつつ研究報告書を量産していた。学生は高学年になると絶えず現場での調査や実務者との討論に参加し良く学び良く遊んでいた。授業にはアフリカでの土木事業に関する科目もあった。私も研究の傍らヘッセン州の道路局での実習を受ける機会もあり、朝7時に出勤し9時頃朝食、3時半の帰宅には驚いたが、ドイツ経済の底力は効率性と責任感、倫理感にあると思う。この間1986年にはチエルノブイリ事故も経験した。学生なので家族も含め医療費や生活費が



**岩楯 徹広**  
 いわた たかひろ  
 70年東京都立大学工学部研究科修士課程卒業。70年4月財団法人電力中央研究所入所。94年4月東京都立大学大学院工学研究科土木工学専攻教授。2009年5月東京都立大学名誉教授・首都大学東京名誉教授・中国上海交通大学客員教授。2014年1月首都大学東京オープンユニバーシティ特任教授。



安く、授業料もほぼ無料であった。帰国後は磐越道、中国道、山陽道、秋田道、舞鶴若狭道、東海北陸道の建設を担当した。その後、海外の道路政策、高齢者対策、道路植栽や環境問題を担当後、再び全国の高速度路建設、特に新東名や外環を担当し、多くの地元、首長、国、政治家の方とお付き合いをさせて頂いた。道路公団民営化後は研究所や仙台勤務を経て2010年から東北の高速度路を点検、補修する関連会社の社長を務めている。4年前の東日本大震災時には社員一丸となって高速度路の点検、応急対策を行い、被災後20時間緊急車両を通すことができた。福島原発の関係でいわきまで、ガソリンや食料を届けた。

その後放射能で止まっていた高速度路を再構築し、今年3月には常磐道が全通し東北創生や原発廃炉作業の基盤が完成した。毎年被災地支

援のために仙台にライブツイヒ弦楽四十奏団をお呼びしたり、福島のリング農家を支援している。今後も東北のために魅力ある会社づくりとドイツとの交流を進めていきたい。

### 暮らしの中の喜び

#### —空手道を友として50年—

#### 岩楯 徹広 (都16・工・土木)

1964年に都立大学工学部土木工学科に入学と同時に空手道部に入部、空手道人生をスタートしました。以後50年空手道を続けています。入部した新入生は、十数人(全員初心者)で、そのうち土木工学科が

7人、約半分を占めていました。自分は大柄だが足腰が頑健で、粘りと忍耐力だけは、人一倍あったように思います。初心者の7級からスタートし4年で初段、大学院では式段をとることができました。

1970年に電力中央研究所に入所し、24年間の地震・耐震の研究活動の傍ら、時間の許す限り空手道を続けました。

1994年4月に、工学部土木工学科の教授として母校東京都立大学に戻り、空手道部部长に就任しました。その後日本空手協会から五段(名誉)を拝受しました。2009年3月に退職後、4月に名誉教授、

2013年1月よりオープンユニバーシティの教授として社会人教育に携わるとともに引き続き空手道部(名誉)部長として、空手道部の面倒をみることに成り、春夏の合宿、大阪府立大戦、横浜市立大戦にも参加し、学生と一緒に良い汗をかいています。

中国上海交通大学の客員教授になった関係から、上海出張時には、日本空手協会上海支部に顔を出し、中国の子供達にも空手道の指導を行う機会を得ました。さらに、2013年からはアメリカダラス在住の長女の紹介で訪問した「ダラスマーシャルアカデミー空手教室」で客員師範の要請を受け、年2回ほどアメリカ



アメリカダラスマーシャルアカデミー空手教室にて

の子供達にも空手道の指導を続けております(押忍)。

私は今年70歳になりますが、空手道の活動の場がアメリカにも広がり、毎年、ダラス道場で孫やアメリカの子ども達に空手道を指導することが生きがいとなり嬉しい限りです。これも『神様が与えてくださった賜物』と感謝しています。今後とも、「空手道を一生の友」として続けていこうと思っています。

最後に一言、ここまで、家のことを心配することなく空手道を続けられたこと、仕事に専念できたことは、素晴らしい伴侶(妻由美子)のサポートのおかげであることは言うまでもありません。

### 在シンガポール都立大・

#### 首都大学東京同窓会の報告

同窓会の方々に現地でお会いし、結成の経緯や積極的な日頃の活動など世界に広がる同窓生のネットワークの構築に向けて重要となる貴重なお話を伺うことができました。

会員は、大学を出たばかりの若手からアジア各地で長く仕事をされてきたベテランまで幅広く参加されており、世界で最も暑い都市で活躍される方々の活気に刺激を受けました。世界各地で活躍される会員の皆さんをつなぐ同窓会活動を進めたい。

(広報委員 小原 弘道 記す)





## 交流の輪を広げる 「日本の海岸線を歩く会」 外房お試し歩行と大阪府立大学との交流

住山 茂（都16・工・電気）

ワンダーフォーゲル部(ワンゲル)OB会の「日本の海岸線を歩く会」については、発足に至る経緯や概要、およびその実施状況を2014年のTMUに、歩く会の江守会長が寄稿しておりますが、海岸線歩行がどんなものかを体験して頂くために、2015年3月と4月に「春の外房お試し歩行」を実施しました。

このお試し歩行は、出来るだけ多くの方が参加できるように3月28日・29日および4月25日・26日の土曜日・日曜日に実施しました。3月はJR外房線の上総一ノ宮から御宿までの約32km、4月は御宿から安房鴨川までの約32kmを歩行しました。

今回の歩行において特筆すべきことは、大阪府立大学ワンゲルOB・OGに参加いただいたことと、同窓会の黒石会長に参加いただいたことです。

府立大学ワンゲルOB会との交流は、2013年2月に府立大OB会東京支部総会において「サバイバル登山」等の著者で都立大ワンゲルOBの服部文祥君が講演の機会を得たことから相互交流が深まり、昨年は双方の山小屋を訪問したりしました。

そして、外房歩行以後の能登半島、若狭湾、山陽道の歩行にも府立大ワンゲルの方々に参加いただいております。

また、黒石会長からは、2015年2月の首都大学東京同窓会の総会において、自分も良く歩いているので、是非一度歩行に参加したい、との力強い表明があり、4月の歩行に参加していただく事になりました。

3月の歩行では上総の一ノ宮にある玉前(たまさき)神社にお参りしてから歩行を開始し、2日目の朝は大原駅からいすみ鉄道に乗って満開の菜の花を満喫しました。

4月の歩行では日蓮上人誕生の地にある「誕生寺」にお参りしたり、伊能忠敬の似顔絵を側面に描いたりヤカーを押して、全国の海岸線を歩いているおじさんに会ったりと、色々な出会いもありました。

これからも人々と交流し、各地の文化・風土に触れながら、歩行を続けて行きたいと考えております。

今回の外房歩行に参加された黒石会長と府立大ワンゲルOBの山田さんに歩行の感想を書いていただきました。どうもありがとうございます。

### 外房歩行の記

黒石 輯（首都大学東京同窓会会長）

外房歩行一日目の行程、御宿から下総興津までの約18kmに参加した。春の柔らかな陽ざしを受け、潮騒を耳にしながら、何とか皆さんの足手まといにならずに下総興津まで歩き通せた。

私がこの催しに参加した動機は、ロンドンから東京まで歩行敢行したワンゲルOBの方々に関心を持っていたからである。

当ワンゲルOB会は先輩・後輩の連合体だが、相互に穏やかな自己規制をしながら和を保ち、それぞれの役割を果たすというチームであるように思えた。これなら途方もない距離を、助け合いながら遂行しえるはずだと納得した。

立派な実績のあるこのチームが、日本の海岸線の完全歩行を目指している。達成したとの果報を心待ちにしている。

### 外房お試し歩行に参加して

山田 昭正（大阪府美生ワンゲルOB）

「日本の海岸線を歩く会」を知ったのは2014年8月に八雲クラブで行われた写真展でした。伊豆半島、能登半島、東海道など美しい海岸線の写真に見入り、懇親会で江守会長から海岸線歩きの楽しさや苦労話を

お聞きし、すっかり魅入ってしまいました。また2015年1月の新年会に参加させて頂き会員の皆さんと杯を交わし一層身近なものになり、今回の「外房お試し歩行」に参加した次第です。

腰痛を歩いて治した経験もあり、外出すれば一万歩は歩いていたので、歩くことには多少の自信もありました。しかし、数時間連続して、一日18km程度を歩くのはワンゲル卒業以来で、ママは出来るし膝は痛くなるほど、思っていたよりハードなものでした。ご一緒した川田先輩、江守会長、黒石同窓会長のお元氣さには驚きました。

府大ワンゲルから外房お試し歩行に2回参加した芳森佳子さんが6月の山陽道歩行(呉から柳井)に広島在住の松尾隆君と参加、4月の若狭湾歩行には金沢在住の松田治男君が参加するなど少しづつ輪が広がっています。

江守会長から西日本地区の歩行計画について府大ワンゲルOB会への協力依頼があり5月のOB総会で提案しました。関東以北もまだ未踏のようですので、また一緒に歩きたいと思っております。

そして、両OB会が息長く協力して日本の2万6千kmの海岸線を走破ではなく歩破したいものです。

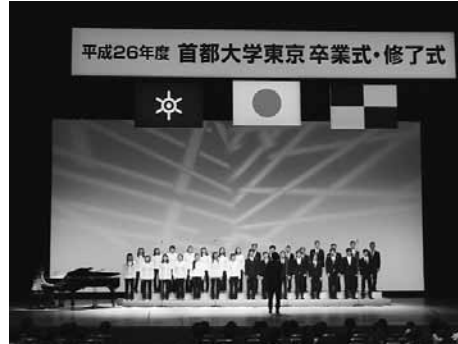
この「海岸線を歩く会」を「山小屋交歓会」と共に両OB会のメイン交流会にしたいと思っています。

# 母校はいま

見出しの☆印は同窓会で  
支援している行事です。

## 2014年度卒業式

3月21日(土・春分の日) 東京国際フォーラムにおいて学部卒業式・大学院終了式が行われました。学部学生は1604名、健康福祉学部助産学専攻10名、大学院博士前期(修士)663名、博士後期(博士)52名、専門職学位46名。卒業生・修了者合計2375名が新たな門出を迎えました。



卒業式ではエリカ合唱団による校歌合唱で式典が盛り上がりました

今年の卒業生が入学した時は、東日本大震災のため、南大沢キャンパスの大講堂で午前午後の二グループに分かれて学長の祝辞を受けるという異常な入学式になりました。国際フォーラムでの卒業式は特に印象深いものがあつたのではないのでしょうか? 式典後は、それぞれ南大沢・日野・荒川キャンパスに移動し、学部

別あるいはコース別に学位授与式があり、その後にキャンパス内外で謝恩会が行われて、卒業生・修了生にとっては、忙しく楽しい一日でした。

## ☆今年度の成績優秀者

卒業式において原島学長から、学部・系の代表者に学位記の授与があり、続いて黒石同窓会会長から学部8名の成績優秀者に表彰状と同窓会提供の記念品が授与されました。今年度の成績優秀者は次の8名の方々です。



原島学長から、学部・系の代表者に学位記の授与があり、続いて、黒石同窓会会長から学部8名の成績優秀者に表彰状と記念品が授与されました

都市教養学部 都市教養学科  
人文社会系国際文化コース

鴨井 奨平

法学系 法律学コース

太田 有貴

経営学系 経営学コース

山田 萌実

理工学系 化学コース

和田 智也

都市政策コース

八嶋 伸海

都市環境学部 都市環境学科

伊藤 大介

システムデザイン学部システムデザイン学科

田村 加奈恵

ヒューマンメカトロニクスシステムコース

健康福祉学部 作業療法学科

内田 あかね

## 2015年度入学式

4月5日(日) 東京国際フォーラムにおいて入学式が行われました。今年度は、学部生1649名、大学院生874名、合計2523名の新入生が入学しました。式典では、上野淳学長の挨拶、都知事(副知事代読)、都議会総務委員会委員長祝辞、来賓紹介後、川渕三郎理事長挨拶、祝電披露、教職員紹介、そして黒石同窓会会長の挨拶と続きました。その後在校生から入学生へのお祝いとして管弦楽団演奏、校歌合唱、応援団エール交換と続き賑々しくも厳かな式典でした。

☆大阪府立大学戦は南大沢キャンパスを中心に行われ、母校が快勝



フォーラムのロビーでは、記念撮影をする新入生が随所で見られました

7月3日(金)から5日(日)まで、今年度は会場を南大沢キャンパスを中心に第63回首都大学東京・大阪府立大学総合競技大会が行われました。梅雨前線の停滞で、期間中は雨模様が続き、江ノ島ヨットハーバーで開催予定のヨット競技が荒天で中止になったものの他競技は19勝9敗で母校が快勝しました。通算成績は首都大学東京が26勝33敗3分1中止となりました。母校は61回(2013年)から3連勝です。今年のキャッチフレーズは「共道」でした。

本戦前6月25日(木)、インフォメーションギャラリーにおいて結団式が行われ、同窓会から「府大戦」の支援金目録が選手団に贈呈され必勝を期しました。



選手団は両校の幹部教職員の前勢ぞろいし、大会会長窪田横浜市立大学学長の挨拶で開会式が始まりました

6月7日(日)横浜市立大学金沢八景キャンパスを主たる会場として第34回首都大学東京・横浜市立大学総合定期戦が開催されました。

### 第34回対横浜市立大学 総合定期戦は母校が勝利



開会式優勝旗返還。大会会長の首都大学東京学長上野淳氏、副会長の大阪府立大学学長辻洋氏をはじめ両校の幹部教職員ならびに同窓会から黒石会長が出席しました

梅雨入り前でしたが当日は晴れ間も出て涼しく天候に恵まれ、アメフト・水泳・女子バドミントン・ゴルフ・卓球・ハンドボール・ラグビー・軟式野球の8競技で本校が勝利、全競技総合で8対7と辛勝することができました。

### 国際化推進本部の設置

母校の教育研究の国際通用性・国際競争力強化の実現を図るため、全学横断組織で国際化推進本部が新設されました。同本部は、次の事項に関する方針の決定を行います。

1. 教育研究に関する国際戦力の策定に関すること。
2. 教育研究の国際展開の企画及び支援に関すること。
3. 海外の大学及び研究機関等との連携の強化に関すること。
4. その他本学の国際活動に関すること。

また、同本部の下部組織として国際化企画部を設置しています。

### 急速に進んでいる

#### 母校のグローバル化

グローバルな教育研究環境の構築を重要課題に、異文化理解、人的交流を推進する本学の国際化は急速に進んでいます。

国際交流協定締結校数は、前年よ

り22校増え79校に、そのうち学生交換協定校数は20校増え47校になりました。また留学生数も435名で前年より21名増加しています。出身国は、中国267名、韓国31名をはじめ33ヶ国(昨年より8ヶ国増)から来日しています。しかし、大半がアジア地域からの留学生で、欧米からの学生数を増やすことが望まれます。

### 交換留学生用にシェアハウスの 国際学生宿舎を用意

協定校の交換留学生、国費留学生(国内採用を除く)及びレジデントアシスタント(生活サポートを行う正規学生)のため、次の2物件67室を国際学生宿舎として用意されました。留学生、日本人学生、更に社会人を含めた一般の方々とも共生することで様々な交流が生まれ、留学生は勿論日本人学生にとっても国際経験が出来る場となっています。

#### ①りえんと多摩平

団地型シェアハウス(総室数142室)を30室借り上げ。

学生の負担額は30,000円

(うち共益費10,000円)。

#### ②シェアプレイス聖蹟桜ヶ丘

大規模シェア型賃貸物件(総室数108室)を37室借り上げ。

学生の負担額は32,000円

(うち共益費15,000円)

### ☆2014年度スポーツ・ 文化活動賞が決定

2015年3月24日(火)午後2時から26年度スポーツ・文化活動賞の授与式が本部棟大会議室で行われました。黒石同窓会会長から次の3団体に表彰状と副賞(金一封)が贈られました。

#### □体育会応援団チアリーディング部

活動内容…チアリーディング

受賞理由…昨年11月にイオンモ

ル多摩平で開催された母校シス

テムデザイン学部の研究室が出

展した際、応援団チアリーディ

ング部が広報・集客活動を行っ

た。また、府大戦・横浜市大戦

をはじめ、大学行事には毎回貢

献しており、各部の試合等でも

応援に行き、大学の広報活動に

寄与している。



留学生がくつろげるシェアハウス「シェアプレイス聖蹟桜ヶ丘」のパブリックスペース

□鳥人間部T-MIT

活動内容…滑空機作成と滑空飛行  
受賞理由…昨年7月開催の「第37回鳥人間コンテスト2014」

(読売テレビ主催)の「人力プロペラ機タイムトライアル部門」において、準優勝を収めた。なお、本記録は被推薦団体歴代最速の記録だった。

□文化部連合グリークラブ

活動内容…男声合唱

受賞理由…都大会にて金賞ならびに都連理事長賞を受賞し、「第67回全日本合唱コンクール大会」においても金賞を受賞した。また、「第14回東京男声合唱フェスティバル」においても、1位という成績を収めた。

写真上…受賞した体育会チアリーディング部によるパフォーマンス、中…滑空前に最後の機体点検を行う鳥人間部、下…第67回全日本合唱コンクール初出場で金賞を射止めた文化部連合グリークラブの演奏



☆第7回ファイティング

スピリット賞の授与式

3月24日(火) スポーツ・文化活動賞授与式に引き続き午後3時から同窓会主催の第7回ファイティングスピリット賞授与式が行われました。今回は20件の応募があり、厳正なる審査の結果、次の5件が表彰されました。

□グリークラブ

代表 植木晃弘

テーマ…全日本合唱コンクール金賞受賞

理由…創設以来初めての快挙であり、そのための練習を少人数で乗り切った。

□首都大学東京体育会弓道部

代表 近藤和也

テーマ…都学リーグ戦Ⅱ部昇格をはじめとする成果と努力

理由…男子・女子共に優秀な成績を残し、上位の部に昇格した。

□Smile Laboratory

代表 森 久美子

テーマ…ネパールインターナショナルスクールにおける学校健診ボランティア〜愛

理由…男子・女子共に優秀な成績を残し、上位の部に昇格した。

理由…学童の健診について、プロジェクトを立ち上げ、

を形にしてみました。

写真右上…受賞を喜ぶグリークラブ員(グリークラブはスポーツ・文化活動賞も受賞、右中…2部昇格を果たした弓道部男子部員、右下…同女子部員、左上…表彰を受けるSmile Laboratoryの代表部員、左中…表彰を受けるESSティベートセクションの代表部員、左下…小型ロケットの説明をする嘉数正人君



学校健診についての意識のないネパールの学校を対象に実施の合意を取り付けて、学童の健康の保持に貢献した。

□首都大学東京ESSディベートセッション

代表 宇藤真宏

テーマ…英語即興ディベート大会、活動における奮闘

理 由…常に自己の能力を高める

活動を行い、英語即興ディベート大会において上位に入賞する等、首都大学東京のレベルの高さを示した。

□嘉数正人

テーマ…バイク未満の小型EV開発

理 由…ものづくりを目標とし、その試作は評判が良く、実際に役立つものと思える。

□第3回プロジェクト奨励賞  
助成金交付が行われました

第3回プロジェクト奨励賞助成金の交付が8月5日(水)午後4時から南大沢キャンパス理事長室にて行われました。同窓会は未来を担う学生諸君の同窓会への参画を促し、大学と協力して在学中から同窓会に関心を持ってもらえるように活動を行

っています。本年は次の3プロジェクトが受賞にふさわしいものであるとの審査結果で奨励金交付が行われました。

□荒キャン東北応援隊

代表者 小野敬済

所属 健康福祉学部理学療法学科3年

テーマ 岩手県陸前高田市におけるボランティア活動

奨励金 20万円

□Happy Circle International  
(世界の幸せつなげてみる会)

代表者 森 久美子

所属 人間健康科学研究所  
フロンティアサイエンス学域

テーマ 在日外国人の子供たちのHappy Lifeを応援します

奨励金 15万円

2014年4月、南大沢キャンパスに「フロンティア研究棟」を開設しました。この研究棟は、世界的にもユニークな金の触媒機能に関する

□TMU-SFC・体験！化学実験  
実行委員会

代表者 鈴木 遥

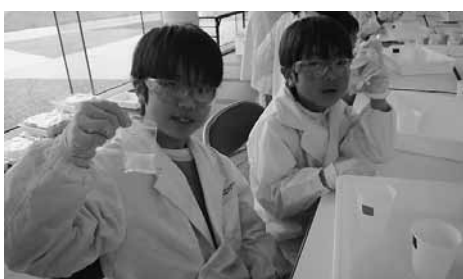
所属 都市教養学部理工系化学コース3年

テーマ 大学祭において「体験！化学実験2015」及び、学外で実施する「出張！化学実験教室」

奨励金 15万円

フロンティア研究棟の新設

写真上…陸前高田市の仮設住宅で手芸指導を行う荒キャン東北応援隊 中…黒石頼会長から交付を受ける「世界の幸せつなげてみる会」代表の森久美子さん 下…「体験！化学実験実行委員会」の移動実験教室の「コマ



南大沢キャンパス東門脇に新設されたフロンティア研究棟

研究を進める「金の化学研究センター」の基幹施設であり、金触媒の産業利用推進や次世代の研究人材の養成などを目的としています。場所は南大沢キャンパスの東門を入って左側の敷地、建物は地上2階建て(延べ面積1,126.87㎡)で、1階は実験室4室、2階は研究室4室となっています。

フロンティア研究棟が金の化学研究の国際的な拠点となり、世界における本学のプレゼンスがより一層高まることが期待されます。

国際キックオフ・ワークショップ  
を開催！春田正毅教授

現在7つある研究センターの一つ「金の化学研究センター」のセンター長であり、ノーベル化学賞候補に取り上げられている春田正毅教授

が、2014年5月14日(水)、15日(木)に南大沢キャンパス国際交流会館に於いて「金の化学研究センター」の基幹施設であるフロンティア研究棟の国際キックオフ・ワークショップを開催しました。国内外からそれぞれの学術分野で世界の第一人者を招き、「金」をキーワードに化学のみならず、物理学、生物学についても最新の研究開発成果が報告されました。海外からも多くの研究者をお招きし、満員の会場では最先端の金の化学について活発な意見交換が行われました。

理工学系 生命科学コース  
卒業に必要な単位を全て英語で履修可能に、2015年4月開講

都市教養学部 理工学系 生命科学コースでは、2015年(平成27年)4月から、英語で開講される授業のみの受講で卒業することができるようになりました。生命科学コースの卒業に必要な124単位の授業と実習がすべて英語で受講できます。日本語で開講される授業と組み合わせることも可能です。

開講された授業は、分子進化、生態学、系統分類学、遺伝学、生化学、神経科学、細胞生物学、生理学などの多岐の分野に及びます。授業と実習で取り扱う題材や生物は、生命科学コースの教員や大学院生が自ら最

先端の研究で扱っているものを含んでいます。また、人文科学分野の授業も英語で開講されますので、本コースで提供される授業と組み合わせ受講することができます。

「タイムズ世界大学ランキング」引用論文で世界一にランキング！  
総合で世界239位、国内7位

2014年10月1日に公表された「タイムズ世界大学ランキング」で、首都大学東京は239位(昨年211位)にランクされました。これは、781校ある日本の大学の中では、東京大学、京都大学、東京工業大学、大阪大学、東北大学、名古屋大学に次ぐ第7位(昨年第6位)のランクです。

特に Citations (引用論文) の部門において、2年連続で最高点の100.0を記録し、米国のMITと並んで世界一の評価を受けるなど、国際的に高く評価されています。

過去3年間の首都大学東京の  
ランキング結果

2012 - 2013	
世界	国内
266位	7位
↓	
2013 - 2014	
世界	国内
221位	6位
↓	
2014 - 2015	
世界	国内
239位	7位

松本日向緑地で旬の竹の子採集  
(間引き) が行われました

4月14日(土)午前9時から11時まで「ひなたクラブ」により南大沢キャンパス内にある松本日向緑地で竹林を適切に管理するため、タケノコ採集(間引き)が学内、近隣の方々の参加を得て行われました。南大沢キャンパスの三分の一の面積を占めるこの緑地を管理するために、生命科学の教員・学生を中心に「ひなたクラブ」が設立されています。当日は、黒川信准教授(都28・生物・同窓会副会長)から「ひなたクラブ」の活動内容が説明され、加藤英寿先生から竹の子を掘った後は埋め戻し、自然を維持する等、緑地でのマナーを教わりました。



最後に参加者全員が集まり、収穫したタケノコを持って記念写真を撮影

バンコク事務所の活動実績

昨年4月にタイ・バンコク・チュラロンコン大学内に開設した母校のバンコク事務所の主な活動実績は次のとおりです。

交流活動支援  
IASO(留学連絡会)JUN Thai等現地連絡会への参加による情報収集。

国際連携活動支援  
理工学系教授とチュラロンコン大学への訪問による研究交流打合せ、共同研究パートナー調査。人間健康科学研究科事業での連携調査。

シンポジウム等研究活動支援  
母校における物理化学分野のシンポジウム開催。

広報活動  
協定校訪問(マヒドン大学、チュラロンコン大学、マラーヤ大学)・各種留学フェア参加。

同窓会活動  
開所式へ  
アジア人材  
修了生招待、  
スピーチ。  
タイ在住の  
アジア人材  
修了生への  
協力依頼。



バンコク事務所の執務室

## 第2回プロジェクト奨励賞 授賞グループ活動報告

第2回プロジェクト奨励賞3件のうち、2チームの報告書を掲載します。

### 荒キャン東北応援隊

代表者 小野 敬済 (健康福祉学部理学療法学科3年)

テーマ 岩手県陸前高田市におけるボランティア活動

私たち荒キャン東北応援隊 (以下 ATO) は首都大学東京健康福祉学部の学生を中心としたボランティアサークルであり、岩手県陸前高田市内の仮設住宅を訪問することを主な活動としています。仮設内では手芸やマッサージを通してコミュニケーションの場を創り、仮設に住む方々の心を癒す“何か”を提供できれば、という想いで活動しています。

さて、今年の夏で震災から4年半が経ち、テレビや新聞などのマスメディアに震災に関するニュースが載ることはかなり減ってきました。復興はすでに終わったものとされ、震災についての記憶や意識は風化されつつあるのではないのでしょうか。

しかし、世間の意識と相反して、被災地の復興は進んではいません。確かにライフラインや交通網は整備され、食糧や生活物資に困ることはありませんが、震災前と同じように生活できているとは言えない状況です。家族をなくし、最愛の人をなくし、家やかつての職場をなくし、生きがいをなくし、4年半が経ち、多くの方が活気を取り戻しかけていますが、まだまだ癒えない部分もたくさんあるのです。

また、多くの方が未だに仮設住宅で生活していますが、仮設に住んでいるということは単純な話ではありません。仮設を出られない理由は様々です。新居を建てる上での経済上の理由や公営住宅の入居権利待ち、あるいは公営住宅への入居権利を持ったとしても、入居先での

近隣住民との関係や環境、家族と離れることなどを懸念して、仮設を離れられない方もいらっしゃいます。仮設に住んでいる方の中にはそういった複雑な状況・心理状態にいる方も多いためです。

現在、公営住宅の建設が着々と進んでおり、来年の夏には仮設からの移動が本格的に始まります。一方で、先に述べたように仮設を離れられない方がいるのも事実であり、仮設から出ていく人が増える中で、仮設に残った方にどのような支援をしていくかが今後のATOの課題となるでしょう。また、仮設を出た方に対しても、公営住宅という新たなコミュニティの中で充実した生活を送るために、どのような支援が必要かを考えていく必要があります。

私たちの活動は“人の心”という“見えないもの”に対する支援であり、答えが簡単には見えません。自分たちのやっていることが正しいのか、本当に被災者のためになっているのか、常に自問自答を繰り返しながら活動しています。しかし、私たちの活動の中で笑顔を見せてくれる方が一人でもいるのなら、私たちの活動に対して「ありがとう」、「また、来てね」と言ってくれる方が一人でもいるのなら、私たちは迷わず仮設を訪れます。それが私たちにできる最大の支援なのだと思っていて、今後も活動を続けていきたいと思えます。



### Happy Circle International

(世界の幸せつながてみる会)

代表者 森 久美子 (人間健康科学研究科フロンティアサイエンス学域)

テーマ 在日外国人の子どもたちの Happy Life を

応援しますー Chain of Happiness ー

日本は急速な高齢化の中、持続的な経済成長には外国人の定着が急務ですが、経済価値だけを求めるのではなく、多文化共生のもと全ての人々が健やかに生き、Happinessで繋がる必要があります。在日外国人の子どもが多くが所属するインターナショナルスクールは法律から適応除外され、健康診断のシステムが存在しないことがあります。そこでメディカルライセンス保持の院生として、ネパールインターナショナルスクールの子ども達に対し、健康診断ボランティアを実施しました。

これにより2014年ファイティングスピリット賞を頂戴し、2015年7月イギリスにて学会発表を行いました。今年度、所属や国籍を問わず、医療、音楽、宇宙工学などを専門とする様々な人々が集うサークルが立ちました。日本で生きる世界の子どもたちとその家族の「生き

る」を支えるため、様々な国々のアイデンティティーを尊重した健康診断、子育て相談、食育・お料理教室、小児救急応急処置法、ワークショップなどの社会貢献プロジェクトを進めます。

保健・医療・教育の各々の相互作用関係に介入を試み、国内外へアピール・啓蒙することで、社会・行政などへの影響を期待し、多文化共生が促進されるための方向性や支援モデルを目指し、Happinessを繋げていきたいと思えます。しかし、活動資金の苦慮は否めず、暖かいご支援を賜りたいと思っております。

ご賛同していただける方がいらっしゃいましたらご連絡いただくと幸いです。

連絡先 森 久美子 首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 フロンティアヘルスサイエンス学域 脳機能解析科学分野 博士後期課程  
〒116-8851 東京都荒川区東尾久7-2-10  
E-mail:mori-kumiko@ed.tmu.ac.jp



## グリークラブ 第67回全日本 合唱コンクール金賞受賞報告

昨年グリークラブは、団の歴史上初めて全日本合唱コンクールに出場しました。私達が出場したのは、大学職場一般部門 大学ユース合唱の部です。この部の出場資格は「8人以上、28歳以下」ですが、当団は東京支部大会と全国大会通して、同部における出場団体内中最少人数の13人、さらに唯一指揮者無しの団体でした。

支部大会は、2014年9月6日に府中の森芸術劇場で行われました。団体数はシード団体含めて9団体、私達は7番目の演奏でした。

結果は銅・銀・金賞の順に発表されます。「銅賞 東京大学柏葉会合唱団…、銀賞 早稲田大学コール・フリーゲル。」そして、次は金賞の発表ですが、首都大はまだ呼ばれていません。受賞を逃したかに思いましたが、立正大学グリークラブに続き、首都大グリーの名前が読み上げられ、団員達は驚きの声を挙げました。さらに、なんと私達が東京支部代表として全国大会へ出場することになったのです。また、都大会最終日には、大学職場一般部門最優秀賞である東京都知事賞も受賞しました。

全国大会は、同年11月22、23日に香川県高松市の「アルファあなぶきホール」で行われました。全国大会には各支部の代表と前年度全国

大会1位団体が出場します。大学ユースの部は22日で、私達は12団体中10番目の演奏でした。福島大学混声合唱団、岐阜大コーラスクラブ、愛媛大学グリークラブ、島根大学混声合唱団、北海道大学合唱団などが出場し、全国大会初出場は私達と東京理科大学グリークラブの2団体です。

そして演奏順に結果発表。「関西学院グリークラブ 金賞、東京工業大学混声合唱団コール・クライネス 金賞…、都留文科大学合唱団 金賞。」私達の発表までに金賞が3つ出たため、内心「金賞はなくなったな」と思っていたら、なんと金賞で思わず団員全員が驚きました。結果として金賞は、九大混声合唱団を加えた5団体。他の金賞団体は、どれも50名以上の団体の中には100名を超える団体もありました。



### 首都大学東京グリークラブについて

グリークラブは、学内唯一の男声合唱団です。当団は、昭和32年に前身である東京都立大学グリークラブが創設され、来年度で創立60周年を迎えます。現在は学部1年生から修士1年生まで女性も含め、12人で活動しています。普段は、月曜日と金曜日の夜に南大沢キャンパスの7号館音楽室、またはグリークラブの部室（学生ホール316）で練習しています。演奏会やコンクールが近くなると臨時練習もしています。また、月に1回、当団の常任指揮者であり、東京都合唱連盟理事長である金川明裕先生に指導していただいています。

年間の活動としては、7月に電気通信大学グリークラブ、大妻女子大学合唱団、東京純心大学合唱団と4大学合同でジョイントコンサート、11月に首都大学東京大学祭 みやこ祭での単独演奏ステージ、同月東京男声合唱フェスティバルへの参加、春に単独定

期演奏会を行っています。そして、昨年の初出場からは2年連続で東京都合唱コンクール（全日本合唱コンクール 東京支部大会）にも出場しています。加えて、招待演奏の依頼もお受けしており、2014年度は草加市と日野市、また、首都大学東京同窓会新年会でも演奏させていただきました。そして、今年度も岩手県一関市の一関文化センターで10月10日に行われた第26回東日本合唱祭へ招聘団体として参加しています。

招待演奏の依頼は今後もお引き受けしたいと考えていますので、演奏依頼等ありましたら是非ご一報ください。

また、今後とも精力的に活動していきますので、どうぞ応援よろしくお願いします。

E-mail: [tmuglee@hotmail.co.jp](mailto:tmuglee@hotmail.co.jp)

URL: <http://www.geocities.jp/metroglee/>

Twitter: @tmuglee





グリーンクラブと学友歌を高らかに合唱

## 同窓会と大学が共催でホームカミングデー ・首都大学東京10周年記念行事を開催

ぬけるような快晴の秋晴れに恵まれた11月3日、首都大学東京と同窓会の共催によるホームカミングデーが南大沢キャンパスで開催されました。3日は大学祭「みやこ祭」の最終日にあたり、午前中から学生や近隣住民とともに多くの同窓生が紅葉まつさかりの南大沢に集いました。「ホームカミングデー」とは、母校に同窓生をお迎えし懐かしく見学していただくとともに今日の大学、大学生に直接触れ、知って頂くことで関心を深めてもらい、大学と同窓生との絆を深めていきたいという目的で大学と同窓会が協同で実施するものです。

折しも本年は、府立高校(旧制)創立85周年・都立大学65周年・都立科学技術大学30周年・都立保健科学大学(前身の都立医療技術短期大学を含めて)30周年とともに、首都大学東京開学10周年にも当たり、講堂では盛大に記念式典、記念コンサートが開催され、上野学長、川淵理事長の挨拶に続いて黒石同窓会長から祝辞が述べられました。大学祭の恒例ともなっている同窓会主催の講演会は、大学院工業化学専攻25期ご卒業の細野秀雄東京工業大学大学院教授によるわかりやすく切れの良いお話に、聴衆一同、文字通り「新材料研究の醍醐味」を堪能されたことと思います。夕方の交流パーティーまで、大学

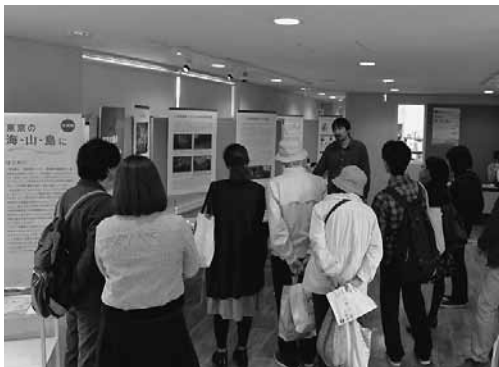
祭とホームカミングデーのイベントは目白押しで、同窓生の皆さんは懐かしい仲間とともに興味の赴くままに足を運びました。ミニ「大学博物館」的存在の91年館では、文系、理系、芸術系など全学の各分野の常設展示の他、「東京の海・山・島に」の企画展も開催され、首都大の研究・教育を広く概観することができました。(22ページ参照)

一昔前は無かったストリートダンスやチャリデーディングを屋外ステージで見ながら、模擬店の呼び込みの波をぬけると「オープンラボ」です。理工系の30以上の研究室が公開され、独自の最先端の研究などについて、大学院生らによる実際の実験装置やポスターを駆使した説明を聞くことができました。

「自然愛好派」は、牧野標本館の加藤英寿先生のご案内で、多摩丘陵の自然が保全されているキャンパス南側に広がる日向緑地を散策しました。

第12回同窓会総会を無事終えた後、学生集団による威勢の良い和太鼓の演奏を皮切りに250余名を集めての交流パーティーがいよいよ始まりました。25のグループ参加、還暦組約20名のほか、首都大卒業の若い世代の同窓生、大学教授、現役学生も多数参加して、世代・分野・学生・教職員の枠を超えて交歓が行われました。恒例となった「締め」では、

平成26年の全国大会金賞を受賞したグリーンクラブによる学友歌「明けそむる・・・」の斉唱に続いて、全員で学友歌、応援歌を合唱。そして懐かしい東寮歌も披露され、近々の再会を約束しつつお開きとなりました。



91年館企画展を教授の解説を聞きながら見学



細野先生の講演を熱心に拝聴

### 2015年度 入試合格者・入学者数 (合格者数は一般選抜の合格者数)

合計	健康福祉学部						システムデザイン学部					都市環境学部					都市教養学部										学科・系・コース 合格者 入学者	
	健康福祉学部						システムデザイン学科					都市環境学科					理工学系											
	小計	放射線学	作業療法学	理学療法学	看護学	小計	インダストリアルコース	経営システムデザインコース	航空宇宙システム工学コース	情報通信システムコース	知能機械システムコース	小計	分子応用化学コース	建築都市コース	都市基盤環境コース	地理環境コース	小計	小計	機械工学コース	電気電子コース	生命科学コース	化学コース	物理学コース	数理科学コース	経営学系	法学系		人文・社会学系
1,719	165	32	35	31	67	277	59	56	51	53	58	186	57	54	51	24	1,091	251	39	49	30	46	47	40	243	373	224	合格者
1,647	201	42	42	40	77	282	61	55	52	53	61	216	65	63	55	33	948	275	43	44	53	47	46	42	253	210	210	入学者

## □ 大学事務局からのご報告 □

### 都市の公立大学が未来を創る

#### 学長対談

2015年7月28日  
朝日新聞広告部員  
許可を得て転載

情報化・グローバル化の進展でさまざまな発展を続ける一方、高齢化や環境破壊など対処の難しい多くの問題を抱える都市、東京と大阪。

首都大学東京の上野淳学長と大阪府立大学の辻洋学長が、これからの大都市における大学の意義と役割について語り合った。

首都大学東京学長 上野 淳  
大阪府立大学学長 辻 洋  
コーディネーター 友澤 和子  
都市の抱える課題に

果敢に挑戦していく  
友澤 現在、社会は大きく変わりつつあります。そのなかでこれからの大学はどうあるべきか、上野学長と辻学長に、それぞれのビジョンをお聞かせください。

上野 現代社会の諸問題を克服することのできる、力強くしなやかな若い知性を持つ人材を育てることが私たちの使命だと思います。首都大学東京は、基本的な幅広い学問分野を網羅した総合大学であり、学生と教員、教員同士の密な関係を大切にしながら、学部を超えた共同研究がさかんに行われていることも特色のひとつです。

辻 これからは、日本においても人材の流動性がいっそう高まり、企業

は海外の優秀な人材を積極登用するなど、競争は厳しくなっていくでしょう。日本の若者も発想を変えて、海外での就職をめざしてもいいわけですし、そうした意識改革を促すことも大学の役割だと思います。

友澤 世界有数の大都市にある大学、しかも自治体が設置する公立大学として、国立や私立の大学とは違った重要性があるのではないかと思います。

上野 本学が東京都から与えられたミッションはきわめて明快で、それは「大都市における人間社会の理想像の追求」というものです。都と連携して取り組んでいるプロジェクトも多く、例として、将来の国際金融都市・東京を支えるための「高度金融専門人材養成プログラム」が来春から大学院ビジネススクールでスタートします。また東京都の海外姉妹都市から研究者を招き、本学での共同研究を通じて博士号を取得できるプロジェクトもあります。総合大学

です。特定の分野に偏ることはありませんが、先端都市問題には果敢に挑戦していくことがこの大学の存在意義だと思っています。

辻 本学にも府と連携して取り組む観光系の社会人大学院「観光・地域創造専攻」がありますし、大阪検定（大阪商工会議所主催）の1級合格者を客員研究員に迎え、地域おこしなどについて共同研究も行っています。

す。特に近年は、大学だけではなく、企業や地域のみならず一緒に人材を育てるといった視点が大切だとあらためて感じています。

友澤 都市の課題解決に貢献しながら、「地元大学」として地域に溶け込む。両大学とも実にユニークな存在ですね。

#### 大都市の抱える課題を

##### 多様な側面から探究

友澤 現在の社会の喫緊の課題としてグローバル人材の育成があります。が、その為の取り組みについて教えてください。

上野 ひとつ具体例を挙げると、「グローバル人材育成入試（AO入試）」と、「国際副専攻」があります。国際社会で活躍できるすぐれた資質を持つ人を選抜するために設けられたのがグローバル人材育成入試で、この方式で入学した人が履修するのが国際副専攻です。主専攻の高い専門知識に加え語学力やコミュニケーション能力を磨くため、1学期または1年間の留学が必須となっています。また現在は生命科学コースだけでなく、4年間すべて英語による授業だけを履修できるプログラムもあります。他学部でもぜひ取り組みたいという声も上がっているのです、今後はさらに広がっていく予定です。

辻 本学では今年4月に国際交流会館「Iwring（アイ・ウイニング）」がオープンしました。こ

こは4つの個室を1つのユニットとして、日本人学生と留学生がルームシェアをするようになっていきます。また2008年から、国際公募した研究者を任期付きで雇用する「テニユア・トラック制度」があります。定められた期間内に一定の教育・研究業績を上げた人には正式採用の道を用意することで、世界で活躍する若い教員にキャリアパスを提供しています。

友澤 そもそも、グローバル人材に必要な素養とはどのようなものと思われませんか。

辻 京都の天橋立は、「股のぞき」で見ると海が空に、空が海に見える絶景として有名ですが、時にはそのように発想を大きく転換できる力が大切ではないでしょうか。同時に主張すべきは主張し、譲るべきは譲る強さと柔軟性こそが重要だと思います。

上野 自分をしっかり持ちつつ世界とコミュニケーションできる力が必要という点では、私も全く同感です。ひとつだけ加えるなら、ここでいう「自分を持つ」というのは「高い専門性を身につける」ことであり、単に語学力がすぐれていることがグローバル人材の条件ではないと思います。

#### 能動的な学びで養う 「本物の考える力」

友澤 最後に、これから両大学をめざす受験生や保護者に向けてメッセージをお願いします。

辻 大阪は今、若い人の東京圏への流出や、産業の衰退、貧困の拡大など多くの課題を抱えており、その解決のためには大学のほか、企業や行政、地域に暮らす人たちの連携が欠かせません。大阪府立大学は、多様な立場や専門の人たちと協力して地域の課題に取り組み意欲のある人を待っています。入学時点では将来の夢や目標がまだ定まっていなくても多いいでしょうが、4年をかけて学生とじっくり対話しながら、リーダーシップや起業家精神を育てていきたいと思っています。

上野 首都大学東京には、世界的にも高いレベルの研究者や教育環境がそろっており、意欲の高い学生が来てくれるなら育てる自信があります。ただし、漫然と講義を聴き試験を受けるといっただけの人には、何も与えてあげることができません。「本物の考える力」「未来に果敢に挑戦する力」を養うには能動的な学びこそが必要であり、学生が意欲をもって向かってくるなら、本学は必ず成長の機会を保証します。

友澤 世界には今、解決が急務でありながら正解の見えない問題が山積しています。こうした厳しい時代をぜひ若い人たちの力で切り開いてほしいと思いますし、そのために両大が今後もすぐれた人材を社会に送り出し続けることを期待をしています。本日はありがとうございます。

2015年4月1日付 首都大学東京名誉教授称号授与者

氏名	所	属	氏名	所	属
高桑 史子	都市教養学部人文・社会系	社会学コース	小柴 共一	都市教養学部理工学系	生命科学コース
須田 治	都市教養学部人文・社会系	心理学・教育学コース	浅古 豊	都市教養学部理工学系	機械工学コース
乾 彰夫	都市教養学部人文・社会系	心理学・教育学コース	杉浦 芳夫	都市環境学部	地理環境コース
実川 敏夫	都市教養学部人文・社会系	国際文化コース	星 旦二	都市環境学部	建築都市コース
奥村 哲	都市教養学部人文・社会系	国際文化コース	加藤 寛	都市環境学部	分子応用化学コース
木村 誠	都市教養学部人文・社会系	国際文化コース	関原 謙介	システムデザイン学部	ヒューマン・ロボティクスシステムコース
落合 守和	都市教養学部人文・社会系	国際文化コース	長澤 親生	システムデザイン学部	情報通信システムコース
山田 高敬	都市教養学部法学系	政治学コース	池田 誠	健康福祉学部	理学療法学科
森本 博行	都市教養学部経営学系	経営学コース・経済学コース	八木 一夫	健康福祉学部	放射線学科
神島 芳宣	都市教養学部理工学系	数理学コース	福田 賢一	オープンユニバーシティ	身体健康栄養
岡部 豊	都市教養学部理工学系	物理学コース	萩原 裕子	都市教養学部人文・社会系	心理学・教育学コース

上野 淳名誉教授  
学長就任祝賀会を開催

2015年6月10日(水)に八雲同友会主催による新任学長のご就任を祝う会が、丸の内の日本工業クラブで開催されました。

八雲同友会会員有志、同窓会会長ほか理事有志総勢40余名が参加され、山木利満小田急電鉄社長と黒石輯同窓会会長のご挨拶があり、和やかな会となりました。参加者全員、都立大学卒業の同窓会員が学長に就任されたことを格別の慶びとしたことは言うまでもありません。

「表紙のことば」  
大田黒公園

渡部 力(都1・理・物理)

私は理化学研究所を定年後、前からの懸案であった油絵を始めました。そのころ杉並区の町おこし公社という団体の主催でスケッチ会がありました。JR荻窪駅のそばにある大田黒公園で催されました。車もあんまり通らず、のんびりした頃でした。わたくしは公園の中は絵を描く人が多く混んでいるので、さけて公園の外で書きました。右側の森が公園です。

司法試験74校中14位で  
合格率アップし  
23.01%

法科大学院修了者を対象とした2015年の司法試験の合格者が9月11日に発表された。

全体の合格率は23%に上昇、母校は114名が受験し26名が合格した。司法試験の合格者が低水準のため大学院の廃止が増加する中で、母校は受験者、合格者共に増加し大いに健闘した。

法科大学院別の合格者数(1位〜20位)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
大学院名	一橋	東京	東大	神大	慶大	愛大	中大	早稲	大田	北海道	九州	東北	名古屋	首都大	神奈川	大阪	岡山	熊本	創価	同志
受験者数	142	240	305	149	347	22	475	471	165	147	153	136	148	113	35	118	65	38	78	189
合格者数	79	128	149	72	158	8	170	145	48	42	40	35	37	26	8	22	12	7	14	33
合格率(%)	55.63	53.33	48.85	48.32	53.36	36.36	35.79	30.79	29.09	28.57	26.14	25.74	25.00	23.01	22.86	18.64	18.46	18.42	17.95	17.46

朝日新聞9月9日朝刊による。

## 国際センター・国際課による 大学のグローバル化の取組みと方向性

首都大学東京 国際センター

特任教授 岡部 豊

はじめに自己紹介をさせていた  
だくと、私は首都大学東京を本年  
(2015年) 3月に定年となりま  
した。部局長として大学の国際化に  
努力してきたこともあり、引き続き  
き、国際センター特任教授としてお  
手伝いをしています。「国際化」、あ  
るいは、「グローバル化」が大学教  
育におけるキーワードとなっている  
こと、言うまでもありません。我が  
国の大学生が内向きになっていると  
の指摘もあり、官民協働の「トビタ  
テ」留学 JAPAN 日本代表プログラ  
ム」などの海外留学を促進する支援  
が行われています。一方、日本政府  
は、「留学生の大幅な拡大をめざす」留  
学生30万人計画」を平成20年に発表  
しました。

首都大学東京では、国際化の推進  
を重点課題として取組むため、平  
成21年に国際センターを発足させ、  
井上春夫先生、青村茂先生がセンタ  
ー長として尽力され、本年4月より、  
海老原充先生が、3代目の副学長・  
国際センター長として、国際化の陣  
頭指揮をとっておられます。現在、  
国際センターでは、兼任のセンタ  
ー長と2名のセンター長補佐・部門長  
と、4名のセンター専任教員、また、  
数名の特任教員が勤務しています。  
国際センターは本年度より、教授会  
を持つ部局として位置づけられるこ

とになりました。また、国際課が独  
立した事務組織として、人員的にも  
強化されています。

国際センター・国際課では、海外  
の大学・研究機関との国際学術交  
流協定の締結拡大に努め、交換留  
生対象の短期留学生受入プログラ  
ム（英語名称 Semester Abroad at  
Tokyo Metropolitan University、略  
して SATOMU）の実施、グローバ  
ル人材育成入試に合格した学生を対  
象とする国際副専攻、大学院生の国  
際学術会議派遣事業、留学相談、留  
学生のサポート、大学教員のための  
英語研修、などを推進しています。  
東京都の「アジア人材育成基金」に  
よる、アジア諸国からの博士後期課  
程留学生のための、住宅提供、奨学  
金給付、授業料免除等の支援により、  
多くの留学生を迎えました。「アジ  
ア人材育成基金」は終了したものの、  
「東京都都市外交育成基金」による  
外国人留学生事業として、対象地域  
も拡大して継続され、一層の外国人  
留学生の拡大につながることを期待  
しています。

ここ数年の努力で、国際学術交流  
協定締結が飛躍的に拡大し、留  
生の数も増加しました。交換留学生  
の拡大、「アジア人材育成基金」に  
よる博士後期課程留学生の寄与が  
大きいと言えます。「国際化の推進」  
が着実に進んでいるものの、文部科  
学省の国際化プログラムの獲得など  
必ずしも成果が上がっていません。

本学は、Times Higher Education ラ  
ンキングで高い国際的評価を受ける  
中で、まだ国際化は不十分であると  
言えます。海老原副学長は、研究を  
ベースとする国際交流に、より重点  
を置くことなど、国際化の次のステ  
ージに向けた方針を示されています。  
大学を選んで重点的な交流を進  
めることは、上野学長の方針でも  
あり、本年9月に英国で開かれた  
EAIE（欧州国際高等教育大会）に  
海老原副学長が参加された際には、  
重点大学の候補として、英国のレス  
ター大学、オーストリアのウィーン  
大学を訪問されました。両大学とは、  
全学国際学術交流協定を締結してい  
ますが、一層の交流の推進、特に大  
学院レベルの研究に基づいた学生交  
流について、具体的に面談・討論を  
されました。ダブル・ディグリー、  
ジョイント・ディグリーを含む、共  
同指導体制の確立も視野に入れてい  
ます。

留学として、講義の聴講だけだ  
なく、大学、企業等における体験・研  
修としての海外インターンシッ  
プが、国際的に重視されるようになっ  
ています。有力大学からのインター  
ンシップ研修受入れの組織的な取  
組み、一方、本学学生のインターンシ  
ップ研修による実践体験の推進も検  
討しています。本学は、平成25年に  
理工農薬学系の学生を対象とした海  
外インターンシップの仲介をする国  
際団体である IAESTE（国際学生  
技術研修協会）の大会会員校になり、  
本学の学生を派遣すると共に、海  
外からの研修生の受入れを始めまし

た。IAESTE については、本学の  
前身の一つである東京都立科学技術  
大学では、大会会員校となり、推進  
をされた教授が常務理事・事務局長  
として尽力され、学生を派遣すると  
同時に、延べ20名の海外からの研修  
生を受け入れた実績がありました。  
東京都立大学では、多くの国費大学  
院留学生が在籍し、各方面で活躍さ  
れているというご指摘もあります。  
首都大学東京となるにあたり、国際  
化の面で低迷していた面も認めませ  
んが、新しいステージとして、一層  
の国際化・グローバル化を推進して  
いきたいと思います。

同窓会の皆様には、いろいろな側  
面で母校の国際化に協力し、応援  
していただいています。昨年（平成  
26年）の同窓会報でも、「Wieda 大  
学カーボンナノチューブ研究者との  
『有志との懇親会』」「留学生と  
現役学生を招いてのひな祭り会」の  
記事が載っています。また、原島前  
学長から、学生・教員が海外に出か  
ける際に、外国に在住している卒業  
生に協力していただきたい旨、話が  
あり、黒石同窓会長が快諾された  
と伺っています。「アジア人材育成基  
金」の留学生の同窓会の組織化は始  
めたものの、以前の留学生の掌握が  
十分とは言えません。他大学では、  
海外企業におけるインターンシッ  
プの斡旋などについて、海外在住の卒  
業生が協力して進められている所も  
あります。同窓会のご尽力に感謝を  
すると共に、一層の国際化・グロー  
バル化の推進に、ご協力をお願いい  
たします。

# 支部だより

## 北海道支部

飯田 俊郎

(都35・社会科学研究所修了)

### 第11回 首都大学東京同窓会

北海道支部総会

2014年11月8日、KKRホテル札幌において北海道支部の総会および懇親会を開催しました。会員22名のほか、本部から首都大学東京同窓会の黒石輯会長にご出席いただき、ささやかながら心温まる一時となりました。

総会では2014年度活動報告、2015年度活動計画、2015・2016年度役員案が承認されました。当支部の活動内容は、総会および幹事会のほか、奇数月の第二木曜日に札幌・ススキノの串カツ店で集う「二木会(にもくかい)」と、年3回の「ゴルフみやこ会」の開催となっております。北海道内には支部が把握しているだけでも約250名の卒業生が住んでおり、より多くの卒業生が親睦を深められる活動を展開することが課題です。

今年度より事務局長を拝命した私が会員名簿をチェックしたところ、意外に多くの知人やお名前だけは存じ上げていた方が都立大・首都大の卒業生であることを発見しました。そこで今年3月開催の二木会には、札幌市公園緑化協会・学芸員の有賀

望さん(平成7年・理学部卒業)をお招きし、市民団体「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」の取り組みをご紹介いただきました。花鳥風月を語る趣向への期待が高まって串カツ店の座敷がぎゅうぎゅう詰めになり、学生下宿での飲み会を彷彿とさせる光景になりました。また8月には、辻泰弘さん(昭和53年・経済学部卒業)の北海道副知事就任を祝う臨時二木会を開催し、大いに盛り上がりました。

「群れることを嫌う(群れても仕方ない?)」などと言われる北海道の本学卒業生が、「これみんな都立大なの?」などと軽口をたたき合いながら、年齢・性別・職業・経歴を超えた交歓を楽しんでおります。首都大卒の若者の参加で明るく爽やか

な雰囲気が増しており、この調子で続いて行けば良いのではないかと思う今日この頃です。

## 関西支部

事務局長・根津 嗣郎

(都32・工・建築)

### 2015年・首都大学東京同窓会

「関西支部の集い」

第22回目の「関西支部の集い」は、5月23日(土)に大阪・本町にある「日本綿業会館」で、本部から黒石同窓会会長および加藤監事および、元科学技術大学学長 根岸様をお迎えし、32名の参加により開催しました。

「関西支部の集い」は、野本幹事(経済・51期卒)の司会進行で16:00に開会しました。関西支部 梅村会長(工・機械10期卒)の挨拶に続き、本部の黒石会長からご挨拶をいただき、続いて、昨年 瑞宝中綬章を受章された手塚様(理・生物2期卒)から綬章のエピソードと勲章の実物の披露をいただき、その後乾杯を行いました。

ひとときの宴と歓談の後、支部総会を行いました。総会議題は収支決算報告の件で、事務局長 根津(工・建築32期)から報告し、全会一致で承認をいただきました。その後、関西支部芦沢副会長から同窓会本部評

議員会の報告がなされました。

恒例のスピーチは根岸元科学技術大学学長から都立4大学の合併時の経緯など、楽しくためになるスピーチをはじめ、新規参加者、久しぶりの参加の方からのスピーチを時間までいただき、支部の集いは大いに盛り上がりました。

関西支部の会員は名簿記載数858名となり、規模の大きな同窓会支部になります。今後もこの支部活動を維持発展させていきたいところですが、葉書やメールにおいて「関西支部の集い」開催の連絡を行っても、返信すらんき方が多く、意思確認すら苦慮するところです。

また、若い卒業生の方や都立大以外の卒業生の参加が少なく、会の将来のためにも多くの方の参加を望んでいます。

若い世代の方々の積極的なご参加いただき、世代を超えた「つながり」を深めたいと思っておりますので気軽に越してください。関西在住の皆様、来年も春には「関西支部の集い」を幹事一同、企画を凝らして、開催いたしますので、是非、参加を予定して下さい。

連絡先 E-mail: nez10202@sage.ocn.ne.jp

関西支部 幹事・役員一覧  
会長 梅村 鐵男 都10・機械

副会長 松見 豊和 都12・経済

副会長 芦沢 清隆 都17・建築



事務局長 根津 嗣郎 都32・建築  
幹事 大内 恵子 都14・英文  
幹事 船川 和夫 都18・化学  
幹事 鹿谷 勲 都23・歴史  
幹事 山井 愛樹 都37・地理  
幹事 塩見 吉伸 都48・土木  
幹事 野本 博資 都51・経済



九州支部

幹事長・渡部 登  
(都20・理・生物)

2015年九州支部同窓会総会

2015年九州支部同窓会総会は

2月15日(日) 12:30 レストラン  
桃林にて同窓会本部から黒石 輯  
会長(14期・法経・経済)をお迎え  
して、田沢 明九州支部会長(5期  
・人文・法学)、川路 宏同副会長(6  
期・工・建築)以下九州地区会員16  
名の参加により開催されました。

終わりの時間も忘れてしまうほど  
熱のこもった歓談とビンゴゲームで  
大変盛り上がりました。参加者はほ  
とんどが福岡県在住でしたが、佐賀  
県からも1名参加があり、首都大学  
東京に統合してからの卒業生2名を  
含めて3名の初参加もありました。  
大藤氏は親子そろって参加してい  
たきました。

次回も2016年2月第3日曜  
日、21日(日)に開催する予定にし  
ております。皆様のご参加をお待ち  
しています。

参加者一覧  
伊藤 興和 11期・法経・経済  
大竹 亮 28期・工・建築  
大藤 和秀 28期・経・経済  
小川 省三 26期・理・物理  
加藤 貞夫 7期・工・建築  
川路 宏 6期・工・建築  
田沢 明 5期・人文・法学  
中拂 昭史 18期・工・土木  
平原 純夫 23期・経・経済  
福地 庸吉 13期・法経・経済  
本井 秀卓 24期・工・電気  
山崎 喜代子 17期・理・生物  
渡部 登 20期・理・生物

吉田 晃 15期・理・物理  
豊村 讓治 首都大2010卒  
大藤 政彦 首都大2014卒  
黒石 輯 14期・法経・経済  
・教養・法律コース



訃報

元東京都立大学第十一代総長 茂木  
俊彦(名誉教授)様が9月25日に逝  
去されました。ここに謹んで哀悼の  
意を表し、ご報告申し上げます。  
ご葬儀は近親者のみで執り行わ  
れ、11月29日(日)に「お別れの会」  
が催されました。

埼玉八雲会の報告

佐伯 公  
(都14・経済)

第41回埼玉八雲会実施報告

埼玉八雲会は1992年に、東京  
都立大学の卒業生で、埼玉県の企業・  
官庁に勤めている者、および埼玉県  
に居住している者の異業種交流と相  
互の研鑽を目的に設立されました。  
主たる事業は、年2回、春と秋に、  
研修会と会員同志の交流・懇親を深  
める会を実施しています。平成4年  
からということ、随分長く続いて  
います。研修会は初めの頃は、内部  
講師、都立大学の卒業生で、埼玉県  
以外で活躍されている方の研究発表  
もありました。最近では県政出前講座  
から、講師を選定しています。

第41回の今回は、2015年6月  
19日(金)の午後3時から、「食品  
ロス減らそう」について、埼玉県  
環境部資源循環推進課の沖中主査を  
お招きして、お話を伺いました。  
参加者は15名でした。今回は、ご  
多用中にもかかわらず首都大学東京  
の黒石同窓会長も同席されました。  
日本の食品ロス発生量は年間500万  
トン〜800万トンと多く、これは日本  
の現在の「こめ」の生産量約840万ト  
ンに匹敵します。食品ロス800万トン  
は食品製造業者、外食産業等事業系  
からであるものが、約400万トン、各家

庭から出る食べ残し、過剰除去等が約40万トンで各々全体の2分の1とのことでした。

食品ロスを減らすための、事業者の取組としては、賞味・消費期限の近づいた商品をただ廃棄するのではなく、味や品質に問題ないものは、求め易い価格で消費者へ提供する。さらに、「フードバンク」の取組として、規格外品、包装の印字ミスや賞味期限が近いが、食品の品質に問題ない商品を食品メーカーがNPO法人に渡し、それら法人が福祉施設へ無償提供する。

参加者からの一言コメント…埼玉八雲会の良いところは、卒業生が



単に集まって、飲み食いするということだけでなく、必ず研修会がセットされている。つまり、学習の態度をいつまでも忘れてはいけないということとであり、この特徴は他に誇れるし、自分も他の卒業生に勧めたい。

なお、埼玉八雲会に興味をお持ちの方は、事務局担当「佐伯」のメールアドレスへご連絡ください。

(tsaeki@orange.plala.or.jp)

### □評議員に立候補を お願いいたします□

同窓会は、会員の皆様方の参加によって、運営されていますが、全員の参加は不可能ですので、「評議員」に会の意思決定に参加していただいています。

評議員の選出は、規約第14条に定められていますが、ご参加いただける方が少なく、特に、若い世代の参加が少なく、将来、会の運営にも影響が出ることが予想されます。

評議員には、年1回の「評議員会」への出席をお願いしていますが、これは、評議員による会員の意見の伝達も期待しております。

評議員として、会員との連絡役も期待しているところです。多くの方々の立候補をお願いします。

## 八雲クラブで会いましょう

丑山佐千男（都22・政治）

### ◆自由利用できるスペースが渋谷に

八雲クラブは、JR渋谷駅から徒歩5分、東急ハンスの裏側にあります。40名収容可能なメインルーム（10階）と10名収容可能なサブルーム（11階）。同窓生なら、会員になれば自由に使えるスペースがここにあることをご存知でしたか。

クラス会、ゼミのOB会、パソコン教室や俳句や囲碁など趣味の集まりから壁面を使った写真展など、東京都立大学1期生から首都大学東京卒業生まで約300名の会員が、このスペースをさまざまに活用しています。クラブ運営は首都大学東京同窓会・八雲クラブ委員会が担当し、同窓会理事4名を含めて15名の委員が、利用受け付けから部屋の保守管理までサービスに努めています。

毎月第二水曜日には、まもなく30年目となる「八雲サロン」が開かれています。毎回新鮮でタイムリーなテーマ、ゲスト（同窓生）を招いてのサロンとなっています。予約なしでどなたも参加自由です。

2015年に開催されたサロンのおもなテーマとゲストは、『首都大学東京の来し方行く末』大学改革の主要テーマ（上野淳氏〈首都大学東京学長〉・19・建築）、『観光業界

のプロが語る〈賢い旅行商品の選び方〉（宮崎修治氏・17・経済）、『超高齢化社会と電子書籍』（池田敬二氏・42・社会）、『不動産営業の世界と収益不動産を活用した相続対策』（本多拓己氏・49・経済）、『最強のホンダF1エンジン開発の現場』（河本通郎氏・22・機械）、『知的財産制度を哲学する』（藤田貴男氏・45・院建築）…です。

八雲クラブの入会方法、八雲サロン予定などは、首都大学東京同窓会ホームページをご覧ください。

ぜひいちど渋谷の八雲クラブにお出かけください。見学は自由。八雲クラブで、みなさんの新しい出会いが得られることを願っております。



349回八雲サロン風景（ゲスト：上野 淳・首都大新学長）

# 2015年 同窓会寄付講義

毎年、「産業と企業」のテーマのもとに開講されている同窓会寄付講義は、昨年度(2014年度後期)は、約150名の学生が登録をしております。

講師の方々の尽力により、学生の評価は「視野が広がった」等、ポジティブなものが多かったが、一方「リポートが、きつかった」という声もありました。

今年度は、昨年度と同様に、受講生には、1,000字程度のリポートの提出が、課せられました。

受講生のより深い思索と理解が期待されます。

実施に当たっては、八雲同友会とNPO法人MeCの協力により、OBの中から会社経営に豊富な経験を持ち、産業の発展に貢献した方、あるいは、ご自分の係わった事業についての話等、下記の方々に講師を委託いたしました。

今回の講義では、弁護士の方に講師を引き受けていただき、又、地方自治の第一線の方による問題提起が行われることが期待されます。そして、金融業から食品業界まで、幅広い方々による講義が行われます。

同窓生の皆様、講義を聴講にお出下さい。

なお、講師について、ご推薦頂ける方、ご意見・ご希望がございましたら、事務局まで、お寄せください。

## 第一部 講義の講師および日程

2015年10月8日(木)(銀行)

中條 功 (都23期・経済・経済)

(株)長野銀行 代表取締役頭取

「地域銀行の課題」

2015年10月15日(木)(法律事務所/弁護士)

齊藤 誠 (都16期・法律・法律)

弁護士法人齊藤法律事務所

「これからの企業に求められる社会的責任とは」、副題「途上国における私の体験とビジネスにおける国際人権の課題」

2015年10月22日(木)(食品原料販売)

近藤 秀衛 (都23期・経済・経済)

伊藤忠食糧(株) 代表取締役社長、元伊藤忠商事(株)

「日本の『食』を支える」、副題「コンビニ弁当、おむすびへの取組」

2015年10月29日(木)

(建築設計/監理/インテリアデザイン)

豊泉 正雄 (都22期・工・建築工学)

(株)メック・デザイン・インターナショナル

代表取締役社長、(株)三菱地所設計 取締役専務執行役員、三菱地所(株) 執行役員

「建築と共に歩んだ時間」

2015年11月5日(木)

(投資運用/助言業・金融商品取引業)

高橋 誠 (都20期・経済・経済)

ユナイテッド・マネジャーズ・ジャパン(株)

取締役会長、元野村証券取締役

「ヘッジファンドから見た日本の資産運用業と金融業」

2015年11月12日(木)(生命保険業)

河野 一郎 (都14期・理・数学)

前ブルデンシヤルファイナンシャル

シニアレプリゼンタティブ

元ブルデンシヤル生命保険(株) 代表

取締役副会長、元同社代表取締役社長

「生命保険業界の現状と将来展望」

2015年11月19日(木)

三橋 貴明 (本名中村貴司)

(都42期・経済・経済)

経済評論家 経世論研究所・所長

中小企業診断士

「政府と企業―経世済民とは何なのか?―」

2015年11月26日(木)

山本 那智子 (都24期・工・建築)

Gensler and Associates/ International Ltd

マネージングプリシパル(日本における代表)

「グローバル世代へのメッセージ」

(Message to our global generation)

2015年12月3日(木)

清水 公男 (都25期修了)大学院心理専攻

JR東京西ビル開発(株)代表取締役社長

元JR東日本旅客鉄道(株)取締役

「JR東日本の生活サービス事業の変遷」

2015年12月10日(木)

須藤 理枝子 (都44期・理・化学)

(株)さがみはら産業創造センター・

さがみはら表面技術研究所長

「自由な創造力とコミュニケーション力を活かすものづくり新事業創出」

2015年12月17日(木)

宮崎 修治 (都17期・経済・経済)

ソニー学園湘北短期大学非常勤講師

元近畿日本ツーリスト(株)

「観光立国を目指す日本」

2016年1月7日(木)

齋藤 タ子 (都立医療技術短期大学

専攻科7期 地域看護学専攻科卒)

杉並区保健福祉部子育て支援課

子ども家庭支援担当係長

「健康な都市づくりにおける自治体の政策―『健康都市杉並の取組』―」

## 企画展「東京の海・山・島に」が 開催されました。

今秋、大学祭・ホームカミングデーをはさんで三週間にわたり南大沢キャンパス91年館で標記の企画展が開催され多くの学生・一般来館者が訪れました。伊豆諸島から小笠原の島々や海の「自然と社会と文化」は東京都の公立大学である本学の重要な研究対象であり、また学生、社会人教育の場でもあります。磯焼けや外来種問題、火山・地質などの自然科学から、島ことばの研究、図書館所蔵の島の古地図展示など全学各分野の研究内容が紹介されました。91年館では常設展の他に年1・2回様々なテーマの企画展を開催し、無料一般公開しています。



## ■ 同窓会事務局からのお知らせ ■

### □ 会費の払込みと住所・

#### 勤務先等の変更届のお願い □

維持会費は、同窓会活動にとって、貴重な財源であります。

様々な活動の基になる同窓会名簿の整備、現役学生への支援、会報の発行、様々な行事の実施等の活動資金となります。

維持会費は、年額3千円です。終身会費制度もあり、3万円を納めていただきます。

会費につきましては、本会報に同封しました「払込取扱票」（赤色で印刷された用紙）により納入をお願い致します。払込は、【郵便局】又は【コンビニ】でお願いします。

利用可能な【コンビニ】は、「払込取扱票」の裏面に掲載してあります。「住所等変更届」は、変更があった都度、変更項目を明示の上、該当欄各項目を記載し、ファックス又は郵便でのご一報下さい。

連絡先  
首都大学東京同窓会事務局  
〒192-0364 八王子市南大沢1-1-1  
首都大学東京内

電話番号 042-670-7702  
E-Mail: tmu-al@tmu.ac.jp

担当 小松・杉村  
(参考)

首都大学東京同窓会規約

(会員の責務)

第6条 会員は、本会の事業に積極的に参加し、会費等の納入を果たし、住所・氏名及び勤務先の変更があったときは、速やかに変更事項を本会事務局に届け出るものとする。

(入会金)  
第7条 本会の入会金は、2万円とし、大学の学部又は大学院に入学したときに納付するものとする。(会費)

第8条 本会の会費年額は、次のとおりとする。

1. 正会員 3千円

ただし3万円を一括納付する事により以後、年会費を納付することなく、終身会員とすることが出来る。

2. 特別会員 正会員に準ずる。  
3. 賛助会員 1口5万円  
4. 名誉会員 納付を要しない。

(入会金・会費の不返還)  
第9条 既納入会金、会費及びその他の拠出金は、これを返還しないものとする。

### □ 会員の皆様へ

#### (会費納入状況欄) のご説明 □

会報と一緒に送付する【年会費納入状況】欄についてご説明を致します。

同封の赤色印刷の「会員の皆様へ」をご覧ください。

(1) 2005年10月発行のTMU第

1号までは、維持会費の払込は、「郵便替払込票」の払込金額記入欄にご自分で、お支払いいただく金額を記載していただいていたました。

その後、2006年5月から、会員の皆様の払込の利便性を考えて、コンビニでも払込できる制度を導入いたしました。

(2) 同窓会の年会費の納入状況は、年度(4月～3月)により管理を致しています。

会報は、5月と11月の年2回発行しており、その際、「会員の皆様へ」と会費払込票を同封いたしております。

(3) 納入状況の表示について

【A】 納入状況については、お支払いをいただいている方については、年度ごとに「納入済」(終身会費を納入された方は「納入不要」)を印字しております。

【B】 毎年度3月31日現在、および9月30日現在の納入状況を記載させていただきます。

(4) 次期以降2期以上の維持会費をお支払いいただいた方については、当同窓会の「会員管理台帳」上では、「預り金」として、従来と同様管理いたします。

(5) 同一年度内に重複(2回)して払込をされた方については、当年度を含めて4年以内に未納の年度がある場合には、その年度分に充当させ

ていただいております。また、未納がない場合には、「預り金」として管理して、次年度になった時に、当年度分として、入金処理をさせていただきます。

(6) 「個人情報保護」の観点から、払込票には、住所を記載してありません。\*\*\*\*\*で表示しております。

### □ 会報送付先についてのお知らせ □

会報は、皆様からお届けいただいている「現住所」のほか、指定された「留守宅」、「実家」、「勤務先」にお送りしております。

会報をお送りすると、毎回多くの方の分が、転居先不明で戻ってしまいます。

(5月末発行の会報の場合、約600件)

住所が正確でありませんと、会報が届けられません。

送付先に変更があった時は、必ず変更届の提出をお願いします。

住所変更は、ファックスで送っていただければ幸いです。

ファックス送信に際して、FAX送信面を、確認してお送りくださるようお願いいたします。毎回、10名くらいの方が、間違つて送られてきます。住所を確認できません。

□維持寄付等について□

新しい寄付制度による「維持寄付」については、皆様のご協力により、第10期以降、延べ1600余名の皆様から、一千万円を超えるご寄付をいただき、同窓会の収支の改善に、大きな力となりました。

大変ありがたく、感謝申し上げます。第11期におきましても、500名を超える皆様方のご協力をいただき、感謝いたしております。

なお、現役学生に対する支援は、同窓会としても、積極的に行うことを目的にしておりますので、「目的寄付」につきましては、さらなるご協力をお願いする次第です。

第12期の学生への主な支援策（総額400万円）は

- 1 大学祭等学生の課外活動への支援（90万円）
- 2 対大阪府立大学総合競技大会への支援（110万円）
- 3 学生の自主的な活動への支援（70万円）
- 4 成績優秀者の表彰（50万円）
- 5 寄付講義に関する経費（40万円）
- 6 体育会各部への部旗作成への一部補助（40万円）

□同窓会行事報告と予定□

2015年

8月19日（水）第78回理事会

8月26日（水）会計監査

9月16日（水）第79回理事会

10月8日（木）第12回 評議員会

（スクワール麹町）

10月17日（土）～18日（日）荒川キャンパス大学祭「第30回青鳩祭」

11月1日（日）～3日（火・文化の日）南大沢キャンパス大学祭

「第11回みやこ祭」 総会・交流会

会 ホームカミングデー（大学との共催）

11月18日（水）第80回理事会

2016年

1月20日（水）第81回理事会

3月16日（水）第82回理事会

3月下旬 ファイティングスピリット賞授与式（第8回）

5月18日（水）第83回理事会

7月20日（水）第84回理事会

7月下旬 プロジェクト奨励賞の授与（第4回）

□叙勲等を受けられた同窓会会員の皆様受章おめでとうございます□

2014年春

瑞宝中綬章

手塚 泰彦氏（都立大学 第2回卒 大学院 理学研究科）

2014年秋

瑞宝中綬章

山口 重雄氏（都立大学 第1回卒 理学部 物理学科）

8戸 信昭氏（都立科学技術大学 名誉教授）

死亡叙位・叙勲

2015年8月7日付

従四位・瑞宝小綬章

萩原 裕子氏（首都大学東京 都市教養学部・人文社会学系教授）

（会員の方で、褒章など受章された方がご存知の方がおいでしたら、ご連絡下さい。）

□同窓会の学生への支援□

(1) ファイティングスピリット賞

2015年3月24日（火）

四団体・個人に対して授与

(2) 課外活動への支援

● 大学祭実行委員会等（60万円）

2014年10月18日～19日

第29回青鳩祭（荒川キャンパス）

2014年11月2日～4日

第10回みやこ祭

● 対大阪府立大学総合競技大会

2015年7月3日～5日

首都大学東京で開催

体育会本部（60万円）

首都大学東京19勝 9敗1中止

（3連勝 通算26勝33敗3引分1中止）

プロジェクト奨励賞

2015年8月5日

3団体に助成金を交付した（50万円）。

(4) 大学との共催

2015年3月27日（火）

スポーツ・文化活動賞

3団体に対して9万円を副賞として贈呈

(5) 就職活動への支援

● OBによる就職活動相談（キャリア支援課）

2名の同窓生を派遣

● 同窓生就職先名簿の閲覧（同窓会事務室）

□大学行事予定□

入試関係

2016年1月16日（土）～

17日（日）

センター試験

2月25日（木）～26日（金）前期入試

3月12日（土）

卒業式（平成27年度学位授与式）

2016年3月24日（木）

国際フォーラム

同窓会は、成績優秀者に記念品を贈呈する予定（8名）

入学式（平成28年度）

2016年4月3日（日）

国際フォーラム

第64回対大阪府立大学総合定期戦

2016年7月1日（金）～

3日（日）（予定）

於 大阪府立大学

# 第11回首都大学東京同窓会評議員会 議事録抜粋

本文中(資料参照)とあるのは、当日配布された資料参照の意味です。

日時 2014(平成26)年12月4日(木)

18時30分～19時35分

場所 四ツ谷 スクワール麹町

出席者 会長1名 副会長2名

評議員70名 委任状58名

合計128名

定足数67名

(現評議員数200名の1/3)

事務局2名

一、開会

仮議長 関根紀夫理事が開会を告げた。

二、議長選出

大塚昶之助副会長(総務委員長)が議長に選ばれ、定足数を確認後、森忠

保理事(企画委員長)が書記に指名された。

三、第10期活動報告(資料参照)

黒石 輯会長の挨拶並びに第10期活動報告

挨拶の概要

就任1年目の感想を語った。川淵三郎理事長、原島文雄学長の話だが、

主な内容は、

・学部名がわかりにくいので変えたい。

・学生のアンケートでも名称に対して反応が悪い。

このことである。

活動報告

地方支部3ヶ所(北海道、九州、関西)を回った。女性の参加を進めたい。

大阪府立大学は交友会館を作った。首都

大学東京にも作りたい。

学生との交流を進めたい。予算の1割くらいは使ってもよいと思う。

大学が読売新聞に全面広告を出したのに

対し、会長自身の考えを語った。

首都大学東京になってからの卒業生3名が新しく評議員になったので紹介された。

議長が以上の活動報告に対して評議員からの質疑を求めた。

Q・渡部一男(都13期生物)

新聞広告の種別が読売、日経は疑問だ。

A・会長

種別は大学当局の考えで同窓会としては範囲外と考える。

Q・清水敏久(第23期電気)

私は首都大学東京の教員です。大学の名前を元に戻したらどうか？

入学者の力が落ち、入りやすくなった半面、退学者も多くなった。

A・会長

医学部を作ったらレベルが上がる。どうだろうか。

Q・高見沢幸夫(都12期工化)

交友会館をどのような方法で作るのか。

A・会長

金がすべてではない。知恵を出し合えば可能であると思う。

Q・廣瀬省蔵(都22期建築)

授業料を半額にしたら、良い学生を集めることが可能である。

ここで議長が議事進行の都合で質疑を打ち切る。

配布資料掲載の活動報告のあらましを会長が説明した。

1. 会報の発行

2013年11月20日

T M U 第9号

33,441部

移転・不明等件数 1,093件

2014年5月20日

臨時会報第9号

32,955部

移転・不明等件数 1,301件

2. 第10回 総会(兼新年会)

2014年1月16日(土)

於…アジュール竹芝(浜松町)

招待者…17名

出席者…122名(準会員等14名を含む)

3. 理事会の開催

第65回理事会(2013年10月16日)

第71回理事会(2014年9月17日)の

7回開催。

4. 第10回評議員会の開催

2013年12月12日(木)

於…四ツ谷 スクワール麹町

第9期決算・第10期予算審議、理事改選に伴う新理事承認。

5. 支部総会の開催

北海道支部 2013年11月30日(土)

九州支部 2014年2月17日(日)

関西支部 2014年3月9日(土)

6. ファイティンクスピリット賞の贈呈

第6回授与式 2014年3月18日(火)

・矢野 竜太郎

・宇宙フリーマガジン制作団体

TELSTAR

・インダストリアルアート映像研究室

・体育会パワリフティング部

7. プロジェクト奨励賞の授与

第2回授与式 2014年7月1日(火)

於…繁田副学長室

・荒キャン東北応援隊

「岩手県陸前高田市の仮設住宅でのボランティア活動」

・T M U - S F C

「化学実験ボランティア活動」

・T M U ☆ C A N

「超小型模型衛星カンサットの制作活動」

・ツuris

「学生観光まちづくりコンテスト」

・高井 宏恵

「OB・OGと在校生との交流促進

8. (シンポジウム・交流会・Web)

学生の課外活動支援

第9回みやこ祭(南大沢)

2013年11月3日(日)・文化の日(5日火)

講演会「夢があるから強くなる」

講師 首都大学東京 理事長

川淵 三郎

参加者 約500名

同窓会PRコーナーを設置

懇親会 ルヴェンソール

参加者 120名

第28回青鳩祭(荒川キャンパス)

2013年10月19日(土)～20日(日)

第62回大阪府立大学定期戦 (於…大阪)

2014年7月4日(金)～6日(日)

母校が総合成績17勝14敗1引分で勝利した

通算25勝33負3分1中止

14年ぶりの2連勝でした

9. 大学との協賛事業

スポーツ・文化活動賞の贈呈

2014年3月18日(火)

課外活動部門

・テコンドー部

・競技ダンス部

・JIBOY

・2014年度成績優秀者表彰

2014年9月25日(木)

学部生 149名

・寄付講義への講師派遣

・キャリア支援課のOB・OG交流会への後援

2013年10月26日(土)

および11月9日

延べ20企業のOB・OGの方々が参加

延べ現役学生・院生約190名が参集

10. 八雲サロンを12回開催  
第328回2014年10月5日、  
第329回2015年9月10日

11. 寄付制度の改訂による寄付の受け入れ状況  
収支改善のための特別委員会の活動が第7期(2011年11月以降)第8期(2012年8月)に、7回の委員会を開催し、収支改善の方策を検討した。維持会費等の改訂については、制度改正を伴うもので、早急の収入の改善にはつながらないとの判断で、寄付制度の改訂の提案を行った。

この提案に基づいて、終身会費納入後10年以上経過した「終身会員」の方々に寄付をお願いし、また、学生支援のための「目的寄付」を全同窓生の方々に呼びかけた。

今年度は、終身会費納入後「10年以上」の対象会員(7,526名)のうち初めてのご寄付を頂いた方は、591名である。

維持寄付(終身会員で10年以上の方) 591名 3,180千円(延べ591名)

維持寄付(右記以外の方) 166名 1,524千円(延べ166名)

目的寄付 41名 1,070千円(延べ54名)

12. 卒業式  
2014年3月20日(木)  
於：東京体育館

黒石会長が出席。  
成績優秀者8名に記念品を贈呈。

13. 首都大学東京入学式  
2014年4月8日(火)  
於：国際フォーラム

黒石会長が出席。  
第10期決算報告

14. 吉田俊雄理事(財務委員長)が配布資料により決算内容の説明をした。  
寄付などの協力をいただき収支が良く

なってきた。特に入会率が過去最高の68.2%になった。引き続き入会率をあげていきたい。

監査報告

加藤充子監査が所用で遅参されたので、代わりに小松事務局長より報告があった。

質疑  
Q：浜田敏男(16期電気)

繰越金が同額になっているが、なぜか？

A：小松事務局長  
配布資料により説明。

大塚議長から了承を求め、満場拍手で承認された。

五. 規約の改正について

詳細は事前に議案書が資料として配布されている。またT M U 10号にも詳細説明が掲載されている。

林 正弘理事(総務委員会副委員長)が資料に基づいて説明した。

「要旨」  
□規約4条4項「新年会の開催等会員相互の親睦を図るための事業」のために、会期の変更を行う必要があった。

□事業、特に総会・新年会に対して多くの会員の参加を促すのが基本である。

□総会・新年会への会員の参加を促す方策を検討するために特別委員会を組織し、案を作った。その中で、会計年度の変更の必要がある旨提案があったとの説明があった。

□第32条の会計年度を8月1日から次年7月末日とする。したがって今期は10ヶ月決算とする。

□大学祭に合わせて11月3日総会・懇親会、10月中旬に評議員会を開催する。

□評議員、理事、監事の任期も変わる。

さらに、林総務委員会副委員長より、若返りも図っていききたい旨の意見があった。

質疑応答

Q：清水敏久(都25期電気)

成功者のみの同窓会と見られないよう、気を使わなければならない。

Q：末光イベント委員長

会の事業に会員がより多く参加できる方法があったら教えてほしい。

ここで大塚議長より承認を求め、原案通り承認された。

林総務委員会副委員長より、名簿で評議員の抜けている期を充足すべきなので推薦して欲しい旨、意見があった。

六. 第11期予算案

吉田財務委員長が配布資料をもとに、より健全財政にしたいので寄付をお願いしたい。一般会計、特別会計の科目別推移で繰越金の増減額の説明が行われた。

□ここで、加藤監事が出席し、監査報告が行われた。

会場より以下の意見が出された。

Q：中村直英(都25期法律) 入学金は私が

入学した当時3万円、現在は3〜5倍になっている。安ければよい学生が集まる。安くならないか。大学祭を同窓会も協力してはどうか？協賛金の目的を明確にしては？

ここで、首都大学東京を卒業した新しい評議員が紹介され、2010年卒橋本氏、2014年卒岡本氏の挨拶があった。

大塚議長が追加の意見を求めた。

高見沢幸夫(都12期工化) 宣伝になるとの前置きで、メック M e c の説明があった。

黒川 信副会長(都28期生物) ようやく新しい評議員が生まれた。大学内部からの評議員なので活躍を期待したい。

岡田元浩(都3期機械) 大学、学部の英文の訳が分らない。

外部から見て、大学が良くみられるよう力を入れてほしい。

七. 閉会  
大塚議長が閉会を告げ、引き続き別室に移り、和やかに懇親会を行った。

## 第11回首都大学東京同窓会総会 議事録抜粋

文中(資料参照)とあるのは、当日配布された資料を参照の意味

日時 2015年2月1日(日)

会場 明治記念館 千歳の間

出席者 会長 副会長4名

理事 評議員 正会員 計130名

事務局 2名

一. 開会  
黒川 信副会長(都28期生物)が司会者となり、開会を宣言した。

二. 会長挨拶・活動経過報告  
規約により黒石 輯会長が議長となり、河口 修理事(都20期電気院)を書記に指名した。

- (1) 総会が1月の繁忙期に開催されるのを避けるため、2ヶ月総会を前倒し、大学祭にあわせて次期総会を11月3日に開催することについて説明した。
- (2) 次に、前回総会からの1年間の同窓会の活動が報告された(資料参照)。
- (3) 会報9号、臨時会報9号の発行
- (4) 総会・新年会の開催  
2014年1月16日
- (5) 理事会を7回開催
- (6) 評議員会 2013年12月12日
- (7) 支部総会  
北海道支部 九州支部 関西支部  
ファイティングスピリット賞の贈呈  
2014年3月18日

(7) プロジェクト奨励賞の授与

2014年7月31日

(8) 学生の課外活動支援

第9回 みやこ祭

第29回 青鳩祭

第62回 対大阪府立大学総合競技大会

大学との協賛事業

(9) スポーツ・文化活動賞の贈呈

・2014年度成績優秀者表彰

・寄付講義への講師派遣

・キャリア支援課の「OB・OG交流会」への後援

(10) 八雲サロンを開催

(11) 収支改善のための特別委員会の活動

(12) 卒業式 2014年3月20日

於…東京体育館 会長出席

(13) 入学式 2014年4月8日

於…国際フォーラム 会長出席

同窓会入会パンフレットの配布

質疑は次の議題の後でまとめて行うこととした。

### 三、評議員会報告(資料参照)

大塚昶之助評議員会議長(都6期法)から評議員会報告がなされた。

(1) 第10期(2013年10月1日、

2014年9月30日) 決算について

第10期

(2) 第10期 規約の改正について

同窓会を設立し10年を経過したので、規約を見直し、総会開催時期を2

カ月前めるため、規約を改正した。

(3) 第11期(2014年10月1日、

2015年7月31日) 予算について

第10期は、一般会計と寄付金について処理を行う特別会計をつくり、会計

処理を行った。第10期は一般会計が

「194万円」の赤字であった。

第11期は、収支の過不足額は「0」

円とした。第11期は規約改正による10

カ月予算とした。

ここで黒石議長が質疑を求めた。特に質問はなく、拍手多数により評議員会報告は承認された。

### 四、その他

黒川 信副会長

11月3日(文化の日)に南大沢キャンパスでホームカミングデーを開催することが決まった。同窓生のみさんの来場をお願いする。

なお、2016年の新年会は行わない。

繁田 雅弘副学長(学生担当)

原島学長より10年目の節目に何か行事を行う、と働きかけがあり、ホームカミングデーを行うことになった。

ホームカミングデーについては上野次期学長も賛同された。同窓会のホームカミングデーに対するご協力をお願いしたい。

### 五、閉会

黒川副会長が閉会を宣言した。

続いて富士の間で新年会が和やかに行われた。

なお、新年会には、川淵三郎理事長、上野 淳次期学長および関係学部長ほかの、

18名の方々が来賓として出席された。



## 「輪っばの会」総会報告

自転車部OB会

会長 諸貫 信行

(都27・工院・機械)

首都大学東京・システムデザイン学部教授

「輪っばの会」とは体育会自転車部OB会の愛称であり、言うまでもなく車輪を意味する「輪っば」に由来する。自転車部は1958年に発足してツーリングと競技の活動を続け、1980年にはOB会を組織した。規約に則って毎年7月に総会を開催している。総会では各活動や会計報告に加え、現役学生との交流を図っている。写真は本年7月11日に

新宿で開催された際のものであり、最近では現役学生の就職支援といった側面が見られるが、楽しい雰囲気であることは容易に想像いただけると思う。会員総数は50名を超える規模になったものの、残念ながら総会参加は30名程で推移している。

今年の総会では、「輪っばの会」60周年事業に向けた活動開始を決定した。これまで、40周年の際には、現役の部誌「輪っば」の記念号として小冊子を出版し、50周年の際には記念DVDを制作した。会員からの寄稿や過去の写真に加え、合宿で走ったコースの地図情報の詳細な記録

なども含まれ、自転車部の活動アーカイブとして意義深いものであった。周年事業の一環として会員と現役合同の記念ランも実施した。現役による大学からのランに加えて箱根駅伝と同じコースを走ったり、芦ノ湖畔をポタリング(自転車での散策)したりと、会員は思い思いの走行を楽しんだ後、箱根で合同キャンプを楽しんだ。60周年事業では、さらに多様な事業を実施し、現役・OB会の益々の発展を考えるきっかけとなればと考えている。



# 寄付金受領のお礼

収支改善委員会のご報告とお願い

維持寄付へのご賛同有難うございました。

財務委員会委員長 吉田 俊雄 (都19・数学)

新しい寄付制度による「維持寄付」については、皆様のご協力により、終身会費の納入後10年以上経過された方々約8,000名のうち、昨年6月以降、約1,600名にのぼる皆様から、1,000万円を超えるご寄付を頂きました。

同窓会の収支の改善に、大きな力となっております。

大変ありがたく、感謝申し上げます。今後とも、なにとぞ、多くの皆様方のご協力をお願いいたします。

特に、現役学生に対する支援は、同窓会としても、積極的に行うことを目的にしておりますので、目的寄付につきましても、より一層のご協力をお願いいたします。

第11期(2014.10.1～2015.7.31)の実績は、下記のとおりです。

(参考)

### I 維持寄付

- 1. 終身会員で10年以上の方 324名 199万円
- 2. その他の方 165名 約102万円

### II 目的寄付

48名 約83万円

(人数は、延べ人数です)

### III 名簿

- 1. 維持寄付名簿(終身会員で、納入後10年以上経過された方々です。)
- 2. 維持寄付名簿(上記以外の方々です。)
- 3. 目的寄付名簿

## 終身会費を納入後10年を経過した会員へお願いした「維持寄付」

2015年7月31日現在

氏名	卒期	学科	寺本	昌雄	10	電気	加島	聰	14	土木	野村	智之	18	経済	小松崎	隆	22	誦誦
田ヶ谷	雅夫	2	川島	弘至	10	化学	秋山	秀海	14	数学	廣田	正志	18	法律	佐瀬	茂雄	22	化学
吉田	次郎	2	小松	博	10	独文	堀内	洋治	14	電気	中林	一樹	18	建築	宮田	充朗	22	経済
坂本	充	2	井上	彰造	10	土木	磯部	吉晴	14	法学	遠藤	信二	18	数学	吉田	等	22	建築
田中	恒夫	2	長谷川	佑子	10	化学	村田	喜一	15	建築	大槻	賢一	18	法律	大西	純	22	機械
榎本	誉	2	高橋	晋	10	数学	西嶋	國昭	15	土木	山田	典子	18	経済	高島	一充	22	土木
木下	務	3	高橋	次男	10	物理	来住	敏子	15	心理	大下	幸一郎	18	物理	鈴木	裕	22	法律
山本	京治	3	神尾	裕	10	機械	鈴木	孝一郎	15	機械	川上	耕一	18	機械	蛭田	安	23	経済
荻原	吉武	4	実方	恒子	11	国文	村田	明子	15	化学	大熊	榮	18	英文	日下	豊	23	電気
稲原	高良	4	鈴木	進	11	経済	石橋	修治	15	化学	佐藤	一郎	18	物理	宮本	公隆	23	工化
野上	良仁	4	横山	史雄	11	生物	森田	孟進	15	仏文	市川	美	18	中文	小島	彰	23	工化
松下	輝	4	林	玲子	11	経済	茂田	義政	15	文化	柿沼	秀雄	18	教育	平岩	栄	23	仏文
深野	愛蔵	4	竹内	裕二	11	経済	榎澤	和政	15	物理	溝口	憲治	19	物理	武本	紀夫	23	経済
石渡	敏博	4	高橋	治男	12	仏文	石井	守	15	建築	高橋	裕二	19	機械	白澤	徹	23	機械
林	實信	5	春田	宏	12	経済	木下	サツキ	15	化学	井部	博	19	建築	中台	成夫	23	土木
最上	俊一郎	5	中西	昭雄	12	化学	松浦	知彦	15	経済	中山	隆	19	機械	鈴木	一代	24	経済
溝口	哲郎	5	田中	鶴代	12	物理	池原	憲二	15	数学	会田	三夫	19	化学	西宮	良幸	24	法律
野田	晃	6	川瀬	寛	12	化学	後藤	久	15	数学	平山	純	19	土木	平島	豊	24	経済
今井	智之	6	木全	力夫	12	教育	斉藤	勲	15	機械	飯田	研	19	建築	幸元	克彦	24	機械
齋藤	博康	6	長谷	美地	12	経済	羽賀	建男	15	工化	桐谷	祥治	19	土木	飯塚	高史	24	化学
服部	治雄	6	平沢	廣光	12	物理	林	一夫	15	経済	高橋	仲夫	20	教育	奥村	彰太郎	24	経済
長島	保	6	渡辺	義雄	12	工化	神山	昌美	15	政治	松原	暁	20	法律	有賀	郁子	24	法律
宮田	益男	7	太田	弘	12	電気	西嶋	すみ	15	独文	岡野	裕司	20	土木	岩崎	吉次	25	生物
川谷	之助	7	進	哲夫	12	化学	江上	洋子	15	電気	岡野	芳子	20	化学	柴田	健次	25	政治
土屋	喜男	8	杉村	宗敏	13	建築	服部	セツ子	16	地理	鳥橋	茂子	20	生物	田崎	桂子	25	法律
米谷	堯男	8	石橋	治	13	建築	橋本	修	16	工化	笠田	能央	20	法律	内海	達哉	25	地理
丸山	英男	8	柿谷	宗一郎	13	経済	柳川	雄爾	16	経済	高田	利行	20	土木	山本	勝美	25	土木
小倉	義一	8	猪俣	浩一	13	物理学	大石	俊明	16	経済	鈴木	隆雄	20	土木	田所	勉	25	電気
尾	友孝	8	川又	公宏	13	化学	松野	三義	16	国文	柏木	英俊	20	土木	玉田	柱	25	建築
篠田	哲	8	吉成	哲雄	13	土木	野原	八尋	16	国文	田上	俊久	20	機械	吉田	真理	25	化学
岸川	脩	8	白石	雄二	13	建築	海野	登	16	法律	石橋	映二	20	経済	漆原	正博	25	法律
三宅	健夫	8	山田	典義	13	工化	近藤	邦彦	16	経済	萩原	英男	20	経済	高安	達典	25	化学
竹内	章祐	8	古関	吉樹	13	法学	高橋	紀子	17	生物	森	健治	20	建築	高安	紀子	25	化学
林	勝也	8	志波	直	13	建築	鈴木	正子	17	土木	安達	幸弥	20	経済	古川	邦夫	25	数学
田崎	研三	9	澤田	諄	13	土木	嶋田	信弘	17	工化	井田	响二	20	独文	樋口	正勝	26	経済
青木	邦子	9	金井	良祐	13	経済	木全	恵子	17	中文	関田	昇一郎	21	工化	今村	和則	26	物理
梅沢	仁治	9	小川	正恭	13	人類	村上	彰子	17	生物	藤田	喜一郎	21	経済	井上	勝則	26	地理
小塚	育子	9	大森	和男	13	電気	浅岡	輝彦	17	法律	杉浦	満幸	21	法律	林	朗子	26	建築
田中	克臣	9	田渕	良雄	14	電気	飯島	隆一	17	数学	清水	芳樹	21	建築	藤嶋	秀	26	法律
村	厚	9	木村	濠子	14	化学	池田	浩一	17	経済	原	信行	21	経済	鈴木	茂次	26	土木
花小	昭	9	大部	悠	14	工化	山田	隆一	17	経済	桑	雅章	21	英文	高橋	久明	26	土木
西川	浩次	9	佐藤	京子	14	化学	京才	俊則	17	土木	石毛	一男	22	機械	楠	靖之	26	経済
奥藤	多一	9	友野	寛允	14	土木	崎山	将雄	17	電気	井上	稔弘	22	独文	古村	輝久	27	工化
鈴木	光世	10	福田	照男	14	経済	相沢	弥生	17	経済	新見	一	22	工化	山田	美子	27	法律
方			河浦				三留			史学	藤井	茂	22	経済	藤井	悦子	27	心理

大島健志 27 土木	内藤幸一 29 土木	松川ゆま 32 社会	赤尾芳 36 法律	續元志郎 42 政治
木村江 27 法律	笠崎照子 30 法律	田井拓 33 社会	原小弘 36 土木	元堂真直 42 法律
安藤公二 27 建築	河村利彦 30 電気	筒井苗一 33 中文	島中彰 37 法律	山金子 42 数学
菊地二 27 土木	田村裕子 30 心理	田中望月 33 工化	川瀧川 38 土木	原田加藤 44 地理
野村敦子 27 建築	中田正志 30 生物	岡本林方 33 法律	村松 38 土木	藤邊野 44 建築
田神仁 27 数学	田中康夫 30 機械	小真清 34 物理	田川 38 土木	星銅島 44 法律
飯田洋也 28 機械	栗田幸 30 建築	石橋雅彦 34 地理	宇田 38 化学	塩坂 44 法律
歌川和也 28 法律	都祭弘 30 電気	丈孝一 34 機械	為ケ 38 社会	鈴木 44 法律
藤井晃一 28 経済	山口敦史 30 電気	伸男晃 30 土木	田中 39 土木	塩坂 44 法律
山口永 28 法律	粕谷宜 30 化学	信行 30 機械	石川 39 土木	鈴木 46 社福
川越いつえ 28 英文	中崎高野 30 機械	龍太郎 31 心理	日向 39 経済	原田 47 物理
加藤俊成 28 数学	河野内 31 法律	芳朗 31 機械	大金 40 経済	秋葉 48 建築
藤多田 29 土木	野科大倉 31 機械	博之 31 電気	石田 40 法律	惠比 48 都法
田口山 29 法律	石川 31 電気	淳一 31 経済	河内 40 経済	比木 48 法律
奥原啓一 29 英文	鈴木 31 経済	千佳 32 政治	矢野 41 数学	坂八 52 地理
坪内中 29 人類	倉田 32 政治		石井 41 政治	
田中 29 経済			佐多 41 工化	
高徳宏 29 法律			吉川 41 電気	

2. 学生支援を目的とする「目的寄付」 \* 大学名無しは旧都立大学、医は旧医療技術短大、科は旧科学技術大学、首は首都大学東京の略

西形勝宏 1 放射線	澤田泰 7 法学	高野六雄 13 機械	高橋伸 20 教育	根岸史子 36 史学
平田悦朗 2 経済	内川道夫 8 化学	石黒利宜 14 経済	梅野陽 21 建築	山英敏 39 中文
渡邊靖 2 物理	久崎時夫 8 物理	藤井利宜 15 化学	甲田益通 21 物理	金坂清久 40 経済
安部美津子 3 化学	加藤力 9 電気	堀那華 17 化学	廣瀬省藏 22 建築	小林雅範 43 経済
清水裕 3 機械	小松芳雄 11 経済	浅岡輝彦 17 法律	大戸敏勝 22 法律	原田亮 44 政治
大塚昶之助 6 法学	横手久典 11 機械	久保田丈夫 18 電気	横川邦明 24 機械	原田剛 47 物理
後藤昌之 6 生物	戸田正之 11 電気	柏東 18 機械	佐藤郁夫 28 物理	松井映利香 47 前業
		東條友治 19 工化	新井政二 30 地理	

3. 目的を定めない一般的な「維持寄付」 \* 大学名無しは旧都立大学、医は旧医療技術短大、科は旧科学技術大学、首は首都大学東京の略

西形勝宏 1 放射線	石渡澄 6 化学	篠木昭夫 11 法学	今井信一 16 機械	滝口亨 26 数学
池田弘道 10 看護	橋崎教 6 法律	久義一 11 経済	敏男喜 16 電気	熊谷隆 26 法律
浦道誠 1 管理	山仁 7 電気	英輔 11 経済	正彬 16 経済	村上茂樹 26 法律
永井厚司 1 航空	武居文彦 7 化学	繁夫 11 経済	稔博 17 地理	村上茂樹 26 電気
谷徹 1 機械	澤井泰 7 法学	勝彦 11 生物	憲博 17 物理	竹井裕子 27 法律
池田清則 1 工化	武居文彦 7 化学	動 12 電気	武藤茂 17 建築	西川裕子 27 化学
杉山喜彌 1 2 経済	内田道夫 8 機械	孝生 12 建築	清隆 17 電気	加藤雅久 27 経済
村田由雄 2 法律	友英文 8 物理	邦弘 13 法学	隆 17 電気	山岸健 27 化学
口幸子 2 英文	柏原哲慶 8 物理	育彦 13 物理	丈夫吉枝 18 生物	飯田洋一 28 機械
中村正雄 2 工化	市川進 8 電気	溪子 13 生物	唯弘 19 政治	森田義仁 29 物理
佐々治 2 化学	矢崎育子 8 生物	典 13 人類	正雄 19 経済	宮本義雄 30 建築
橋本具 2 法学	重川好 8 化学	六雄 13 機械	正弘 19 電気	武田朋子 31 物理
清水英 3 機械	久崎力 9 電気	欽一郎 14 土木	紀子 19 英文	篠原裕子 32 法律
山本博 3 法律	所弘之 9 経済	下田知行 14 経済	秀夫 20 経済	中村裕子 32 独文
西川博 3 法律	青木義典 9 土木	中島輝興 14 機械	清 20 工化	尾上志保 34 法律
台山博 3 経済	井上秀剛 9 生物	黒石大 14 経済	達雄 21 物理	福島能彰 35 機械
山竹二郎 3 工化	林義典 9 経済	神原貞昭 14 電気	陽 21 建築	根岸史子 36 史学
笹川和政 4 機械	川島弘至 10 化学	西嶋國昭 15 土木	耕太郎 21 地理	土屋裕之 37 土木
細川秀夫 4 経済	高野健一 10 物理	中島利宣 15 化学	益通 21 物理	小野正則 37 経済
大池一成 4 経済	小島辰治 10 工化	藤井成雄 15 日東	幹雄 22 工化	川井英敏 39 中文
西本洋司 5 土木	小島正之 11 電気	西嶋國昭 15 土木	陽子 22 経済	平山京子 39 法律
神山孝司 5 建築	戸田誠 11 電気	藤井西 15 土木	由彦 23 機械	藤本續 42 政治
山田晃之助 6 法学	勝彦久 11 生物	西嶋陸 15 経済	喜一 23 経済	伊野賢一 47 政治
野塚剛毅 6 法学			隆 23 経済	松井映利香 47 前業
神宮字 6 経済			信吾 24 物理	
田中榮一 6 化学			友久 25 物理	
原弘明 6 経済			直英 25 法律	

## 訃 報

ご逝去された名誉教授の方々等及び事務局にお知らせのあった同窓の方々を謹んでご報告申し上げ、心からの哀悼の意を表します。

氏 名	所 属	逝去年月日	氏 名	所 属	逝去年月日
須 田 治 彦	首都大学東京及び保健科学大学 名誉教授(健康福祉学部)	2014. 06. 01	穂 坂 瑞 男	都28・法学・法律	2005. 01
小 野 幹 雄	名 誉 教 授 (都立大学理学部)	2014. 11. 05	猪 俣 武 行	都01・理学・物理	2015. 05
河 村 望	名 誉 教 授 (都立大学人文学部)	2015. 04. 08	伊 藤 良 彦	都07・院理・数学	2014. 05. 28
小 西 悟	名 誉 教 授 (都立大学人文学部)	2015. 04. 22	伊 東 武 志	都07・法経・経済	2014. 08. 24
奥 山 典 生	名 誉 教 授 (都立大学理学部)	2015. 06. 13	青 柳 定 郎	都09・法経・法学	2015. 01. 20
楠 川 絢 一	名 誉 教 授 (都立大学第六代総長)	2015. 07. 01	木 村 清 春	都02・人文・経済	2014. 12. 19
萩 原 裕 子	都市教養学部人文 ・社会系教授	2015. 07. 10	福 地 厚 治	都13・人文・英文	2012. 07. 26
茂 木 俊 彦	名 誉 教 授 (都立大学第十一代総長)	2015. 09. 25	斎 藤 博 久	都05・工学・工化	2015. 02. 18
高 野 京 子	都21・経済・経済	2015. 03. 16	三 善 行 規	都15・工学・土木	不詳
内 山 鉄 二 郎	都04・院人・英文	2015. 04. 06	吉 田 隆 史	都02・院理・化学	2015. 03. 09
松 室 三 郎	都06・工学・工化	2015. 04. 02	工 藤 節 夫	都06・工学・電気	2014. 12. 15
中 野 嘉 邦	都09・院工・機械	2009. 05. 10	竹 滋 雄	都16・理学・化学	2014. 02. 23
石 鍋 孝 夫	都09・理学・物理	2015. 05	久保田 桂 子	都04・理学・数学	2014. 11. 11
長 井 和 雄	都11・法経・法学	2005.	天 谷 章 吾	都03・人文・経済	2014. 12. 10
長 田 健 治	都06・工学・機械	2014. 12	原 富 士 夫	都03・人文・経済	2015. 06. 02
寺 岡 幸 子	都31・経済・経済	不詳	南 原 博	都27・工学・建築	2003.
大久保 賢吉朗	都07・法経・法学	2015. 05. 28	姫 野 孝 雄	都27・経済・経済	2014. 12. 30
大 谷 義 信	都04・人文・経済	2014. 04. 24	高 畑 靖 世	都13・工学・工化	2014. 11. 29
古 谷 明	都03・人文・経済	2013. 08. 09	佐 藤 隆 治	都05・人文・経済	2012. 09. 29
青 木 俊 廣	都07・工学・工化	2015. 01. 01	龍宮寺 修	都14・院理・数学	2015. 03. 18
秋 本 泰 典	都43・工学・工化	不詳	秋 山 秀 海	都14・院理・数学	2012. 04. 14
守 屋 篤	都04・人文・経済	2015. 03. 27	阿久津 英 和	都16・人文・仏文	不詳
吉 田 昭 夫	都16・工学・建築	2015. 02. 03	柴 崎 毎 茂	都01・人文・経済	2015. 01. 28
西 田 健 彦	都04・工学・電気	2015. 05. 12	外 池 俊 幸	都30・人文・英文	2015. 01
高 橋 巖	都07・工学・建築	2015. 01. 01	島 谷 和 国	都12・人文・社会	不詳
加 納 信 行	都09・法経・法学	2015. 05. 20	沖 田 好 正	都23・工学・機械	2014. 08. 13
			長 瀬 真 理	都17・院人・哲学	2012. 08. 07
			丹 生 久 吉	都04・理学・物理	2004. 03. 14
			吉 成 公 宏	都13・工学・土木	2015. 04. 16
			森 地 重 暉	都11・院工・土木	2015. 08. 18
			姉 崎 進	都18・院工・土木	
			林 明 江	都07・人文・英文	
			野 崎 涉	都09・理学・物理	2015. 02. 26
			大 野 令 子	都09・理学・化学	2015. 08. 31

### 東京都立大学第六代総長

楠川絢一先生を偲ぶ

元都立大学同窓会会長 田中 和夫  
(都2期・土木)

元大学総長楠川絢一先生が本年7月1日に亡くなられた。訃報に接し、思ひ出されたのは、平成14年旧目黒キャンパス内に建立された記念碑「燦燦」のことであった。これは旧制府立高校創立70周年、都立大学創立50周年の記念事業として企画され、府立高校同窓会理事長をされておられた楠川先生がこれを熱心に推進された。二科会の彫刻家野上公平さんとの打合せ、目黒区民キャンパス内への記念碑設置に係わる協議等にご自身で区長の所にお願ひに向かわれるなど先頭に立って動かれた。

先生は旧制府立高校尋常科に入学されて七年間在学、東大卒業後また母校に戻って教壇に立たれ、都立大学発足後も理学部物理学科の教授、さらに大学総長に就任され、通算で45年、目黒キャンパスにご縁があった。先生にとつてこの地は特別な思いのある処であつたと思う。私は同窓会会長として先生にお付き合ひ戴いたのであるが、先生は実に素晴らしいお人柄の方であつた。すこしも偉ぶらず、おらかな雰囲気の中にしつかりした芯をお持ちで人に信頼感を与えられた。しかも気さくで、大学の同窓会総会にもよく顔を出して戴き、昔の学生諸君との交流を楽しんでおられた。楠川先生のお気持ちでは、都立大学も首都大学東京も先生の母校であつたのではないかと、母校をこよなく愛された先生を失い残念でならない。

楠川絢一先生のご冥福を心からお祈りする。  
平成27年盛夏





初夏のドイツ周遊の旅

この3月末に43年勤務した東京都を退職して自遊人となり、6月後半の2週間、念願のドイツ周遊の旅に行ってきました。ドイツ旅行の達人ともいべき大学の先輩の根谷崎さんのお誘いをいただいて実現したものです。根谷崎さんはこれまで世界各地を旅して素敵な写真展を開催したり、詳細な旅行記を書かれたりしています。私もリタイア後は長期の海外旅行に行きたいとずっと思っていたので大いに刺激されました。今回は一行9人、先輩に引率？されて旅立ったのでした。

基本的な移動手段は鉄道、ユーレールパスの1等席を利用したのでとても便利で快適でした。移動と宿泊は全員一緒ですが、宿泊地を拠点に各自好きな所を観光するという気ままな旅です。コペンハーゲンから列車ごとフェリーでバルト海を渡って北の古都リュエックに入り、そこからヴュルツブルグを経て世界遺産の街バンベルグ、バイエルの州都ミュンヘン、オーストリア国境に近い田舎町ムルナウと南下し、また北上して大学と古城の街ハイデルベルク、最後は大聖堂で有名なケルンというコースでした。

一人でノイシュバンシュタイン城とヴィース教会に行ったり、数人でローテンブルグの街歩きやライン川クルーズをしたり、全員でヴィースバーデンの珍しい水力登山鉄道に乗ったりと毎回いろいろで、どれもが楽しかったです。また、ドイツと言えば各地の地ビールとワイン、バンベルグの燻した麦芽で作るラオホビアや独特の丸い瓶に入ったフランケンワイン等々、忘れられない味でした。そしてこの時期ならではのホワイトアス



バラガス、季節限定で6月24日までしかレストランでは出してくれませんが、おいしかった！  
爽やかな気候ときれいな花々、歴史的な街並みや車窓からの風景、人との出会い、伝統的な地酒と料理、とても語り尽くせませんが、旅の



仲間にも恵まれ、初夏のドイツを満喫しました。これからは体力と気力を維持して、地球の歩き方を片手に世界のあちこちに出かけて行きたいと思います。

水津まき子（都20・人文・社会）

東京都立大学「小嶋ゼミ同窓会」終了・「同有志会」発足報告

東京都立大2期～14期会員64名(2014年10月現在)の我が「憲法・小嶋ゼミ同窓会」は故小嶋和司先生の東京都立大学法経学部助教授・教授ご在職中、東北大学法学部教授ご在職中、ご逝去後も昨年まで50年余、毎年開催されてきました。これは一重に小嶋先生の会員にたいするご薫陶、ご遺徳によるものであり、会員一同の先生に対する敬愛、感謝の念と相まって、会員相互の連帯感、強い「絆」がつくられたと考えます。

昨年の「小嶋ゼミ同窓会」で相談した結果、「同窓会」は終了し、お互いの近況、トピックスの情報交換を楽しむ、首都大学東京同窓会参加の窓口としても活動するなどを目途に「有志会」(参加希望者29名)を発足することにしました。故小嶋先生はじめ逝去会員の皆様から頂いた学恩、ご厚情に感謝しつつ、会員相互の気持ちの負担にならない範囲で開催する予定です。

・予定日程：毎年10月第3木曜日昼  
・予定会場：「がんこ銀座1丁目店」 以上  
(文責：「小嶋ゼミ同窓会・有志会」会員、都14・法経・法学 梅澤嘉一郎)

て活動再開にこぎつけた歴史も経験しています。2007年からは毎年末に定期演奏会も開催し、2009年の創立50周年には記念演奏会として、かつては5年毎に実施してきたOB・OG合同ステージが復活するまでになりました。

OB・OG会として記念事業としてOB・OG合同ステージへの支援及び50年史(DVD & CD計2枚と150頁超の冊子)の発刊などを実施しました。

それからあつという間の5年後の昨年の12月23日(祝)に創立55周年記念OB・OG合同ステージを含む第43回定期演奏会を南大沢文化会館で開催しました。

今回の合同ステージの特徴は、3月からほぼ1年かけて最初の音取りから現役と合同で練習を重ねたことです。練習場所も日曜や夏休み期間で大学内施設が利用できない場合には、都内各地の練習場も利用し、同時に親子以上に広がった世代間の親睦を深める場も設けました。

現役団員が5年前より増え、この間OB・OGとなった若い世代も加わり、“全体として若々しい”総勢90人の合同演奏となりました。

演奏内容も、1年間を通して一緒に練習した成果で、来場者アンケートの結果も踏まえると、一定水準の演

奏ができたと思います。その勢いで、5年間の演奏会や活動記録も加えた記念DVDを、急遽作成することになり7月に完成しました(OB・OGには実費1,000円で配布)。

合同ステージは、現役の年度の活動の中で意思決定されることが前提で、5年毎の実施が予め決まっているものではありません。今回は1年半前に次年度に執行部を担う2年次のリーダーの方が、OB・OG顔合わせの際の50周年の合同ステージの話題が契機となり、準備に1年以上をかけしっかりした取組みができました。

5年後は60周年の一定の節目になりますが、OB・OG会としては1年ごとの現役の執行部との顔合わせ、大学祭、定期演奏会などの現役行事にOB・OG等に集客を呼びかけるなど、地道な積み重ねにより、合同ステージを含む記念事業が実現できる環境を整えていきたいと考えています。

最後に、OB・OGの方で今まで会からの情報が届いていない方がいらっしゃいましたら、下記に連絡ください。

連絡先：E-mail：IZS01150@nifty.ne.jp

電話：090-7810-8451

文責 戸辺 文博(都21・工・建築)



#### 硬式庭球部 OLD OB・OG会

平成27(2015)年7月25日(土)今年も、OLD OB・OG会を開催しました。23回目の“今年も雨なし”の会となりました。37名の“老々のメンバー(?)”にも拘わらず、ボールを追い、闘う姿は、懐かしい現役時代を思い出させるものでした。

しかしながら、暑さに抵抗するのもつらくなり、年々終了時間が早まっております。2時半にはシャワーを浴びて、学生食堂へ行くと、既に冷たいビールと料理に舌鼓を打つ仲間の懇談の輪が広がっております。

恒例の集合写真の後で、中原会長の音頭で、懇親会が正式にスタートしました。懇親会だけの仲間(5名)を加え、42名と現役28名、計70名の交流が盛大に

行われました。

喧騒の中、世代を超えた現役とOB・OGの壁を超えた会となりました。散会後は、駅前の居酒屋に席を変え、時間のたつのを忘れさせるような語らいが続きました。

平成28(2016)年は、7月30日(土)を予定しております。

平成時代に入っの「OB・OG」のかたがたもドン参加していただけることを期待しております。卒業してから、強くなる仲間もおります。仲間とのテニスも良いものですよ。各代のキャプテンとマネージャーの皆さん!!連絡をお待ちしております。

幹事 嘉向 嘉伸(都18・経済)

ケイタイ 090-9681-7749

メール kamuki.1203@softbank.ne.jp



### 未来の自分と繋がる会の開催

首都大学東京同窓会の第2回プロジェクト奨励賞を頂き現役学生とOB・OGとの交流会を大学祭の11月4日(昨年)開催しました。

(未来の自分と繋がる会)と題して、教育意欲溢れるOB・OGと、完全紹介制で参加した学ぶ意欲のある学生と出会うという、かなり意識の高い会になりました。私は、NPO法人MeCの例会に出席し、OB・OGが都立大卒であるにもかかわらず、首都大生が活躍し、大学の名前・地位を上げて欲しいという想いを沢山持って頂いていることに感動して「未来の自分と繋がる会」と題した交流会を企画しました。



MeC 理事長の高見澤様はじめ、たくさんのOB・OGにご協力頂いたことにより、学生1人あたり約3人のOB・OGにアドバイスを頂く事が出来ました。OB・OGにはあらかじめ学生それぞれから提出された行動計画書にも添削やコメントをして頂き、肌理細やかな的を射たお話が伺えたと学生は喜んでいました。当校が首都大になってから10年と歴史は浅いため、なかなか学生は愛校心が育みにくい状況がありますが、今回の交流会で素晴らしいOB・OGと触れ、より首都大に愛着をもって学生生活が送れるようになればと願っております。同窓会・MeCの皆様のご協力誠に有難う御座いました。

高井 宏恵 (都市教養学部法学系3年在学中)



### 東急八雲会に参加して

東急八雲会は東京都立大学、首都大学東京を卒業し、東急グループ各社で活躍している社員、OBの方々を含め、30社149名の会員から構成されている同窓会組織です。

平成26年度の東急八雲会は本年3月6日(金)に渋谷エクセルホテル東急にて開催され、50名もの会員が参加しました。当日は若手からベテランまで幅広い層の方々によって東急グループ各社の近況報告や、今年度より東急八雲会のメンバーとなった4人の新入社員の挨拶などが行われ、非常に盛り上がり、歓談の

尽きない会となりました。

私が東急八雲会に参加するのは2回目となりますが、前回と同様に東急グループの第一線でご活躍されている諸先輩方や活気あふれるOBの方々との交流することができました。お話をさせて頂いた皆様が「普段は交流のない会社、部署の方ともこの会を通じて連携できる。また、ここにいるメンバーは出身大学が一緒であるという心強さ、信頼がある。」と仰っていたことが印象に残っております。私も東急八雲会に参加することで、今まで接点の無かった分野の方々と関わりを持つことができ、毎回楽しみな会となっています。次回の東急八雲会では、皆様に良い報告ができるよう、なお一層仕事に励みたいと思いました。

志田 良太 (首都大4・都市教養学部・経営学系)



### エリカ混声合唱団創立55周年記念 OB・OG合同ステージ」が実現

エリカ混声合唱団は、東京都立大学グリークラブの有志と実践女子大学の学生により1959年に結成され、昨年暮れに創立55周年を迎えました。

この間団員数が100名を超える時代があった一方、実際に活動している団員数が0になった時期には、OB・OG会組織による団員勧誘(2003年)が功を奏し

で近況を語り合う和やかな風景があちらこちらで見受けられました。

ところで、今回のメインイベントは現役の男女チームに同窓会から部旗を贈ったことです。

現在、男女ともに関東大学バレーボール連盟に所属していますが、私ども OB が試合会場に応援に行くたびに気がつくことがありました。それはほとんどの参加チームが試合前に必ずといってよいほど自校の部旗を囲み氣勢を上げることです。

「いざ決戦！」との意気込みを示し、団結力を固めようというのでしょう。

ところが、本学のチームは都立大学時代の部旗しか持っていないため使えません。心なしか試合開始前から相手に気おくれしているという印象でした。

そこで、同窓会で部旗をつくってあげようではない

かとの機運が盛り上がり、18期の松嶋副会長が音頭をとってOB・OGに寄付をお願いする一方、部旗の製作は20期の小笠原幹事長をはじめとする幹事諸君が頑張って、この同窓会に間に合わせることができました。

10期の當津会長から男子の吉井主将と女子の入江主将に贈られた時には会場内はおおいに沸き、現役諸君の喜びようはひとかたならぬものでした。

秋のリーグ戦ではこの部旗を中心に結束力を固め、その勢いで試合のほうも優勝を目指して頑張ってもらいましょう。

最後に、今回役員と幹事が改選され、次回2017年の同窓会に向けて21期の田中幹事長を中心に新体制で準備することになりました。

平沢 廣光 (都12・理・物理)



#### 昭和32年入学L1Aクラス会 (第9回卒)

去る11月17日に新宿栄寿司で、久しぶりに卒業後第2回目の会合を持った。在籍30名弱、当日の参加者は13名であった。うち、関西から2名。浜松から1名。札幌からも1名の参加があり嬉しかった。

久しぶりと云っても第1回目の会合があってから30年ぶりである。昭和36年に卒業してから50年以上経っているので、半数以上の方は、同じクラスに在籍をしていたのにもかかわらず、一目見ただけでは誰だか再会しても分からなかった。

でも、それぞれのスピーチを聞いているうちに、イ



メージが一致して、懐かしさが蘇ってきた。皆、大きな希望と目標を持って都立大学に入学してきた。そして、それぞれ当初の目標を目指して、多少の横道に逸れたこともあったが、軌道を修正して、ぶれないで人生を真面目に歩んできた。

ジャーナリストとして、批判的ではあっても、人間味あふれる記事をいくつも書いてきた者。商社マンとして、世界の商戦で大活躍してきた者。公務員として、住民の立場にたって立派に職務をやり遂げてきた者。競争の激しい市場調査の業界にあって奮闘した者。雑誌記者として就職をしたが、それでは物足りず、重機業界で頑張った者。土地家屋調査士として全国規模の業界の組合で役員として才能を発揮された者。当大学同窓会の役員とし、会の発展のために尽くしている者。サラリーマンとしては平凡に過ごしてきたが、退職後は趣味の世界で頭角を現してきた者。等々。

活躍している、あるいはしてきた分野は多岐にわたる。自分とは異なる人の人生は聞けば聞くほど面白い、わくわくするし視野も広がった。

言いたくない嫌な言葉だが、皆後期高齢者ではあるが、精神面では若者の会話を聞いているようであった。大きな人生での収穫があったと言えよう。近いうちにまた会合を持ちたい。浅見 実(都9・法経・法学)

# TMU PLAZA



## 留学報告会を開催

2015年4月26日、渋谷八雲クラブにおいて留学報告会を主催させていただきました、生命科学コース3年の中村芽莉です。当日には、ご多忙にも関わらず高橋理事長、黒石同窓会長も参席くださいました。

本会の目的は、学生同士の経験共有と、多様な背景をもつ同窓会の方々と意見交流をすることでした。第一部をプレゼン発表、第二部を懇親会としました。

学生は、入学して三週間の学部一年生から社会人一年生まで（男性9名、女性11名）、国際交流サークルHANDs、ESS、生命科学コースの後輩に主に集ってもらいました。プレゼンは私のタイ・チュラロンコン大学での生物多様性と海洋保全を学ぶプログラムを筆頭に、シドニーのマコーリー大学・カナダのヨーク大学・マレーシアでの語学研修と、全て2015年春に行われた留学についてでした。

プレゼンは独自の経験が飾ることなく表されており、特にシドニー留学は、自分が丁度1年前に経験したことでもあるので、当時が回想されました。マレーシアのプレゼンでは、語学留学という枠組みにとらわれず自分から現地の文化に入り込むという力強さに圧倒されました。懇親会では、学生が留学をテーマとして専攻を越えた先輩方とお話させていただいたりする姿が見られました。

母校では留学経験をプレゼン形式で共有したり、ざくばらんに留学相談したり出来る場はそう多くありません。学生同士の交流の輪を広げることが出来た点においても、学生と先輩方の今後に繋がる出会いの場となった点においても、本会は大きな意義を持っていたと考えています。また、留学報告をした学生は前理事長から直筆サイン入りのご本をいただき、学生一同誠に嬉しい限りでした。

学生のみによる、より良い会にするための話し合いも行い、学生視点の意見が飛び交いました。それらが今後の母校の発展に寄与し、さらに実りあるものになることを願っています。

中村 芽莉（生命科学コース3年在学中）



報告会は、黒石同窓会会長（右端）や高橋前首都大学東京理事長（中央）も参席され、大変有意義な会になりました



## 最後の旧人文学部2期生の会

〈東京都立大学旧人文学部・2期生の会〉を平成27年4月10日（木）に開催した。会場は今年もNHK青山荘。12時、写真撮影、乾杯。出席者は26名だった。

平成2年2月2日、人文学部有志による同期会を東京ステーションホテルで開いたのがはじまりだった。

その後、昭和25年入学、または29年卒業のどちらかに該当する旧人文学部の方々に呼びかけ、平成7年7月7日に〈2期生の会〉として第1回を開催、途中に旧人文・理・工3学部合同の2期生の会を4回実施、人文単独開催としては今回が15回目の〈2期生の会〉であった。

1954年（昭和29年）卒業から60年経った。これを節目に最終回とすることにした。

卒業して間もなく鍋底と呼ばれた不景気、石油危機をくぐり抜けて高度成長、やがてバブル、それがはじけてデフレを経験してきた世代である。

全員が83才を越えた。杖を曳き、あるいは車イスで元気な顔を見せる友もいた。健康を損ねて出席できなくなり残念とのメッセージを寄せた者もあった。

出席した26人のスピーチは、東京都立大学卒業以来のおよそ60年を振り返り、あるいは学生時代を懐かしみ、各人それぞれに想いのこもった内容だった。

所要経費を精算し残った2万円を「2期生の会」名義で同窓会に寄付することにして幹事団を解散、旧人文学部2期生の会は終わった。

平田 悦朗（都2・人文・経）



## 第4回バレーボール部同窓会で

現役に部旗を贈りました

梅雨も盛りの6月27日土曜日の午後、本学南大沢キャンパス「国際交流会館」において第4回バレーボール部同窓会を開催しました。

同窓会は2年に1回開催しており、当日はOB・OGと現役が仲良く33名づつ計66名が出席しました。

前半は総会、後半は懇親会と例年通りでしたが、懇親会では2年間の空白を埋めるようにテーブルを囲ん

# 首都大学東京同窓会 会計報告

財務委員長 吉田 俊雄

## 第11期決算（一般会計）

自 2014年10月1日 至 2015年7月31日(10か月予算) 単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,680,824	会報制作費	5,735,571
入会金	20,160,000	会報発送費	4,518,217
維持会費	5,751,000	会員情報管理費	2,288,880
新年会等参加費	1,070,500	会議費	1,116,004
預金利子	8,367	新年会等開催費	1,637,095
雑収入	94,000	通信費	410,943
繰入金	2,245,997	学生支援費	2,705,103
小計	29,329,864	事務費	534,594
(前年度繰越金を除く)		人件費	4,730,100
		八雲クラブ運営費	576,000
		八雲クラブ賃借料	1,520,000
		イベント費	422,854
		組織強化費	308,848
		雑費	106,283
		振込手数料等	672,785
		事務所使用料	379,106
		OA環境整備費	293,465
		入会促進費	1,374,016
		会費納入促進費	0
		予備費	0
		小計	29,329,864
		当年度過不足額(収入-支出)	0
		次年度繰越金	49,680,824
合計	79,010,688	合計	79,010,688

## 第12期予算（一般会計）

自 2015年8月1日 至 2016年7月31日 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	49,681	会報制作費	5,800
入会金	20,500	会報発送費	4,700
維持会費	7,095	会員情報管理費	2,880
新年会等参加費	973	会議費	1,350
預金利子	16	新年会等開催費	1,237
雑収入	50	通信費	385
繰入金	5,400	学生支援費	3,900
小計	34,034	事務費	500
(前年度繰越金を除く)		人件費	5,450
		八雲クラブ運営費	864
		八雲クラブ賃借料	2,280
		イベント費	400
		組織強化費	550
		雑費	191
		振込手数料等	800
		事務所使用料	385
		OA環境整備費	360
		入会促進費	1,425
		会費納入促進費	360
		予備費	217
		小計	34,034
		当年度過不足額(収入-支出)	0
		次年度繰越金	49,681
合計	83,715	合計	83,715

## 第11期決算（特別会計）

自 2014年10月1日 至 2015年7月31日(10か月予算) 単位：円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,177,323	払込票制作等	524,034
目的寄付	825,000	一般会計への繰入金	2,245,997
維持寄付	1,024,000	小計	2,770,031
維持寄付(終身)	1,985,000	当年度過不足額(収入-支出)	1,063,969
小計	3,834,000	次年度繰越金	7,241,292
合計	10,011,323	合計	10,011,323

## 第12期予算（特別会計）

自 2015年8月1日 至 2016年7月31日 単位：千円

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,241	払込票制作等	600
目的寄付	3,900	一般会計への繰入金	5,400
維持寄付	950	小計	6,000
維持寄付(終身)	1,150	当年度過不足額(収入-支出)	0
小計	6,000	次年度繰越金	7,241
合計	13,241	合計	13,241

## 財産目録

(2015年7月31日現在)

単位：円

資産の部	
1	現金・預金
①	現金 手許在高 137,474
②	普通預金 106,759,852
	(内 基本金 50,000,000)
	みずほ銀行 南大沢支店 95,808,241
	三菱東京UFJ銀行 多摩センター支店 10,951,611
③	郵便振替口座
	首都大学東京同窓会 24,790
	小計 106,922,116
2	造作 八雲クラブ借室改修費用 0
3	投資有価証券 (株)都立大学同窓会サービス株式 (1,750株) 87,500,000
	資産合計 194,422,116
負債の部	
1	前受会費(繰越終身会費) 26,658,000
2	リース残高(積水リース株式会社) 55,356
	負債合計 26,713,356
	差引正味財産 167,708,760

(備考) 繰越終身会費(10年で償却受入れ)

(注)

繰越金内訳	
一般会計繰越金	49,680,824
特別会計繰越金	7,241,292
小計	56,922,116
基本金	50,000,000
合計	106,922,116

## 八雲クラブ特別会計第11期収支決算報告書

自 2014年10月1日 至 2015年7月31日

単位：円

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金(A)	3,532,498	(今年度支出)	
(今年度収入)		印刷発送費	1,261,225
会員・会費収入	1,336,800	サロン運営費	257,170
サロン参加費	263,000	講師謝礼	115,000
ビジター利用料	337,000	人件費	328,000
雑収入(預金利子他)	2,273	交通費	78,200
一般会計助成金	576,000	通信費	52,697
小計(B)	2,515,073	清掃費	54,000
		手数料支払など	81,432
		雑費	195,420
		八雲クラブ委員会費	40,000
		振込手数料	2,268
		小計(C)	2,465,412
		今年度損益(D=B-C)	49,661
		次年度繰越金(E=A+D)	3,582,159
合計(A+B)	6,047,571	合計(C+E)	6,047,571

次年度繰越内訳	三井住友銀行渋谷支店	3,319,437
	神南郵便局振替口座	109,884
	手元現金	152,838
	資産合計	3,582,159
	未払金	
	負債合計	0
	次年度繰越金	3,582,159

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。

2015年8月26日

監事 加藤 充子 ㊞  
同 君和田洋之 ㊞  
同 古川 順光 ㊞

貸借対照表

(2015年1月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
流動資産	31,370,139	流動負債	788,369
現金及び預金	31,370,139	未払金	11,269
固定資産	57,639,020	前受金	570,000
・有形固定資産	57,566,220	預り金	
建物	6,592,540	未払法人税等	207,100
土地	50,973,680	負債の部合計	788,369
・無形固定資産	72,800	純資産の部	
電話加入権	72,800	株主資本	88,220,790
資産の部合計	89,009,159	(資本金)	87,500,000
		資本金	87,500,000
		(利益剰余金)	720,790
		繰越利益剰余金	720,790
		負債及び純資産の部合計	89,009,159

貸借対照表注記事項

原価償却累計額 30,546,180円

販売費及び一般管理費

自2014年2月1日 至2015年1月31日

科目	金額
管理費	504,600 円
警備費	348,996
減価償却費	480,420
修繕費	105,125
事務用品費	0
消耗品費	12,075
水道光熱費	178,469
旅費交通費	70,320
手数料	112,500
租税公課	211,100
保険料	14,130
通信費	114,624
新聞図書費	
合計	2,152,359

損益計算書

自2014年2月1日 至2015年1月31日

単位：円

経常損益の部	
営業損益の部	
【純売上高】	
貸室収入	
売上総利益	2,280,000
【販売費及び一般管理費】	2,152,359
営業利益	127,641
営業外損益の部	
【営業外収益】	
受取利息	7,119
雑収入	7,119
経常利益	134,760
税引前当期純利益	134,760
法人税等	208,545
当期純利益	-73,785
前期繰越利益	794,575
当期末処分利益	720,790

利益処分計算書

単位：円

【当期末処分利益】	794,575
【次期繰越利益】	720,790
上記の通りご報告申し上げます。	
2015年3月18日	
株式会社 都立大学同窓会サービス	
代表取締役	石橋 穠治
取締役	末光 正忠
取締役	横川 邦明
取締役	杉村 哲雄
取締役	河口 修

会計監査の結果、上記の報告は適正であることを認めます。

監査役 吉田 俊雄

監査役 松本 傳

村山 祥彦 (都5・経済)  
 柳川 義晴 (都11・経済)  
 野原 剛 (都4・化学)  
 根谷崎武彦 (都10・化学)  
 関根 紀夫 (医1・放射)  
 齋藤 夕子 (医7・地域)  
 加藤 充子 (都9・経済)  
 小原 弘道 (科3・機械)  
 黒川 信 (都28・生物)

首都大学東京同窓会・広報委員会  
 会報編集委員会  
 広報委員会・委員長

一人でも多くの同窓生が母校に関心を持ち、足を運び、母校とのきずなを意識することが、今後の同窓会と母校の発展につながるものと思います。それに向け、同窓会広報の意義と使命を肝に銘じています。  
 (黒川)

数年に1回ずつ定期的に同窓のゼミ、クラブ、サークルなどのグループがホームカミングデーに集う習慣が定着しているようです。

「ホームカミングデー」とは？  
 インターネットで検索をかけてみてください。

11月3日だけでも大阪府大をはじめ国公私立を問わず多数の大学で開催されています。

編集後記

# 同窓会と大学が共催でホームカミングデー ・ 首都大学東京10周年記念行事を開催

本誌15頁の記事参照



開学10周年記念式典で祝辞を述べる黒石同窓会長



正門前の歓迎アーチ



黒石同窓会長の祝辞を聞く参会者



ホームカミングデー開催にあわせて  
今年度同窓会総会も開催された



みやこ祭のフィナーレを飾って打上花火が上がる



懇親会で挨拶される上野学長



同窓会共催の記念講演会  
講師:東京工業大学細野教授(都25・工・工化)



秋の陽光を浴びて輝く猿山のモニュメント



同窓会の受付風景



講師控室で細野教授(左)をお迎える黒石会長(右)



飼育棟で見学者に説明する黒川准教授



イベントステージで繰り広げられた  
和太鼓集団「たるま」の熱演

T MU 第11号 2015年11月30日 発行

発行 首都大学東京同窓会  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢1-1  
直通 TEL・FAX 042-670-7702  
TEL 042-677-1111(代)(内 2181)  
電子メール tmua@tmu.ac.jp  
ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/dousoukai/>  
郵便振替口座 00150-0-426678

印刷 京浜印刷株式会社  
〒140-0013 東京都品川区南大井4-7-3  
TEL 03-3763-7321  
FAX 03-3764-6839